

# 北海道議会時報

平成8年第3回定例会  
企業会計決算特別委員会(7年度)



北海道議会事務局

(表紙写真)

### 日高の牧場風景

日高管内は日本一のサラブレッドの生産地であり、競走馬の7割までが日高で生まれている。

えりも町から鶴川町にかけての国道235号線沿いの中でも新冠市街から滑若に向かう道はサラブレッド銀座と呼ばれ、大小約60戸の牧場が点在している。

広々とした草原の中でサラブレッドたちが草を食む風景は一枚の絵画のよう。ここでは明日の栄冠を目指す若駒たちがトレーニングを積んでいるほか、ハイセイコー(明和牧場)やオグリキャップ(優駿スタリオンステーション)など往年の名馬たちが悠々と余生を送っている。

また、平成8年11月には世界の名馬「ラムタラ」が、種牡馬としては国内史上最高の3千万ドル(33億6千万)で静内町のアロースタッドに到着し、外国産馬との競争で劣勢の日高復興の切り札として、熱い期待がかけられている。

(社団法人 北海道観光連盟提供)

…… も く じ ……

**第 3 回 定 例 会**

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	14
決 議	18
意 見 書	18
請 願 ・ 陳 情	21

**委 員 会 の 動 き**

議会運営委員会	23
常 任 委 員 会	26
特 別 委 員 会	33
総合開発調査特別委員会	
産炭地域振興対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
地方分権・行政改革問題調査特別委員会	
予算特別委員会	36
企業会計決算特別委員会	40

**資 料**

北海道議会議席表	47
第41回衆議院議員総選挙結果	48
(平成8年10月20日執行・新制度総選挙)	

**8・9・10月のメモ**

注 決算特別委員会 (終了後一活掲載)

# 議 会 日 誌



## ▶ 8 月

6 日(火) 各常任委員会  
7 日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会

20 日(火) }  
21 日(水) } 企業会計決算特別委員会  
22 日(木) }  
23 日(金) }

## ▶ 9 月

3 日(火) 各常任委員会  
4 日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会

18 日(水) 議会運営委員会  
19 日(木) 文教委員会  
24 日(火) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会

25 日(水) **(第 3 回定例会開会)**  
議会運営委員会  
**本会議** (会期決定〈22日間〉、提案説明、前会より継続審査の報告第34号ないし第38号〈平成7年度企業会計決算〉報告第34号、報告第35号及び報告第38号認定、報告第36号及び報告第37号認定しないものと決定、請願、陳情審査)

30 日(月) 議会運営委員会  
**本議会** (追加提案説明、代表質問〈1人〉)

## ▶ 10 月

1 日(火) 議会運営委員会

**本会議** (代表質問〈4人〉)

2 日(水) 議会運営委員会

**本会議** (決議案1件可決、一般質問〈6人〉)

3 日(木) 議会運営委員会

**本会議** (一般質問〈5人〉、予算、決算特別各委員会設置) 予算、決算各特別委員会 (正副委員長の互選、各2分科会設置) 予算、決算第1・第2各分科会 (正副委員長の互選) 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査)

4 日(金) 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査)

5 日(土) 予算第2分科会 (各部所管審査)

予算特別委員会 (意見調整)

7 日(月) 議会運営委員会

予算、決算各特別委員会

決算第1・第2各分科会

各常任、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会

**本会議** (各委員長報告、議案等可決、追加提案説明、教育委員会委員及び収用委員会委員各選任同意、意見案3件可決)

**(第 3 回定例会閉会)**

22 日(火) 商工労働観光委員会

# 第3回定例会

## 平成7年度電気事業会計決算及び工業用水道事業会計決算を認定しないものと決定

### ▶ 北海道環境基本条例案を可決 ◀

#### 概 要

- ① 平成8年度補正予算案等を審議する第3回定例会は、9月25日招集され、会議録署名議員の指定を行い、会期を10月16日までの22日間と決定。その後、総額484億1,470万円余の平成8年度各会計補正予算等の議案等が上程され、知事から提案説明。

次に、前回より継続審査の平成7年度各事業会計決算について、企業会計決算特別委員長から報告があり、討論、採決の結果、道立病院事業会計決算、道有林野事業会計決算及び工業団地開発事業会計決算は認定議決、電気事業会計決算及び工業用水道事業会計決算は認定しないものと決定。

次に、請願・陳情審査の件4件について、いずれも請願・陳情審査報告書（不採択）のとおり決定。議案調査のため、9月26日から9月27日まで休会することに決定して、散会。

- ② 休会明けの9月30日、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に係る一般会計補正予算案の追加提案があり、知事から提案説明。その後、代表質問に入った。
- ③ 10月1日、代表質問を終結。
- ④ 10月2日、KLMオランダ航空による北海道・ヨーロッパ定期路線開設に関する決議案を異議なく原案可決し、一般質問に入った。
- ⑤ 10月3日、一般質問を終結し、直ちに予算特別委員会及び決算特別委員会を設置。議案等を各委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、10月4日は休会することに決定して、散会。
- ⑥ 予算特別委員会及び決算特別委員会は、それぞれ10月3日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置。その後、予算特別委員会は10月4日から各分科会において各部所管の審査に入り、10月5日をもって終了。同日、各分科会委員長報告の後、意見調整を行い、付託議案をいずれも原案可決と決定。なお、審査の経緯に鑑み、道政改革の実施方針の推進並びに景気対策予算の配分及び執行について、意見を付すことに決定した。

- ⑦ 休会明けの10月7日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。次に、北海道教育委員会委員ほか1件の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後、いずれも同意議決。

次に、社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することに関する意見案ほか2件の意見案を、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、平成7年度各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査の件、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定。

今期定例会に付議された案件は、閉会中継続審査とされた事項を除きすべて議了したため、会期内閉会することに決定し、開会以来13日目の10月7日に閉会した。

- ⑧ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況								計
		原案可決	承認議決	同意議決	認定議決	意見を付し認定議決	認定しない	報告のみ	継続審査	
知事	85	69	3	2	(1)	(2)	(2)	10	1	85 (5)
議員	4	4	—	—	—	—	—	—	—	4
計	89	73	3	2	(1)	(2)	(2)	10	1	89 (5)

注( )内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

# 本 会 議

○9月25日(水) 午前10時56分開議、中川義雄議長、平成8年第3回定例会の開会を宣し、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、議長から、綿貫健輔議員(改革)の辞職を許可した旨及び元議員工藤万砂美氏の逝去(8月27日)について弔意を表した旨報告。

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月16日までの22日間と決定。

**日程第3 議案第1号ないし第68号及び報告第1号ないし第4号**を議題とし、知事から提出議案について説明。

**日程第4 前会より継続審査の報告第34号ないし第38号**を議題とし、企業会計決算特別委員長から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋 見議員(共産)から反対討論があつて討論終結。採決に入り、まず報告第34号、第35号及び第38号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり報告第34号及び第35号は意見を付し認定議決、報告第38号は認定議決と決定(共産反対)。次に報告第36号及び第37号を問題とし、起立採決の結果、全会一致により認定しないものと決定(自民、社民、21'道民、公明、新道政、共産、改革、新社及び無所属反対)。

**日程第5 請願・陳情審査の件(不採択4件)**を議題とし、委員長報告を省略の上討論に入り、萩原信宏議員(共産)から反対討論があつて討論終結。採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもっていずれも委員長報告(不採択)のとおり決定(共産反対)。

議案調査のため、9月26日から9月27日まで休会することに決定して、午前11時31分散会。

## 企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の平成7年度北海道各事業会計決算にかかわる報告第34号ないし第38号の5件につき、その審査の経過と結果について御報告を申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、第2回定例会の6月28日に設置され、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し

た次第であります。

その後、7月5日の委員会において、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、本件を閉会中継続審査の扱いとすることに決定いたしました。

その後、審査に必要な35項目の資料の提出を受け、決算内容の調査を行い、また、8月8日、9日の両日にわたり、関係事業についての現地視察を行ったところであります。

次いで、8月20日から関係部局所管の審査に入る予定でありましたが、監査委員から、企業局所管にかかわる随時監査結果の報告を行いたい旨の要請があり、まず、各部所管質疑に入る前に報告を聴取し、本件についての質疑を行い、引き続き、企業局所管に係る旅費の不正受給に関し、公営企業管理者より報告を受けたところであります。

同日から、一部審議日程を変更し、関係部局所管質疑を行い、8月23日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、随時監査結果報告及び関係部局ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、随時監査結果報告におきましては、

定期監査重点事項及びその基本的考え方、企業局に対する定期監査の具体的監査内容及び事実確認監査の有無、決算審査意見書提出後に不正経理を発見したことに対する所見などの問題。

林務部所管におきましては、

不正経理の内容及び再発防止の取り組み、現基本計画の達成状況及び次期基本計画の考え方、会計方式のあり方についての見解などの問題。

保健環境部所管におきましては、

道立病院の経営改善及び各病院間における医療職員、事務職員などの不均衡な配置の是正についての見解、次期経営健全化計画の基本的考え方などの問題。

企業局所管におきましては、

公営企業に対する認識、電気事業、工業用水道事業及び工業団地開発事業の経営成績の評価、不正経理などの問題。

などでありまして、その内容につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知を願いたいと存じます。

次に、質疑終結後、理事会において意見の調整を図ってまいりましたが、報告第34号、第35号及び第38号については、意見の一致を見るに至らず、

8月23日の委員会におきまして採決の結果、賛成者多数をもって、報告第34号については、次に申し上げる意見、

1. 道立病院の役割や位置づけを明確にし、その配置等について抜本的に見直すとともに、職員の適正配置や業務委託の拡大など徹底した経営改善策を盛り込んだ次期の「北海道病院事業経営健全化計画」を早急に策定し、それを着実に実践すべきである。

報告第35号については、次に申し上げる意見、

1. 公益機能の増進に特に配慮した次期の「道有林基本計画」を早急に策定し、経営改善に一層努力すべきである。

また、企業会計方式による経営が困難になっている状況にかんがみ、特別会計への移行を早急に進めるべきである。

以上の意見を付し認定議決。

報告第38号については、認定議決と決定した次第であります。

また、報告第36号及び第37号につきましては、採決の結果、賛成者はなく、これを認定しないことに決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって私の報告を終わります。

○9月30日(月) 午前10時20分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第69号**を議題とし、知事から提出議案について説明。本件は先議することに決定し、委員会付託を省略の上採決に入り、簡易採決の結果、異議なく原案のとおり可決。

**日程第2 議案第1号ないし第68号及び報告第1号ないし第4号**を議題とし、代表質問に入り、

川村 正議員(自民)から、



1 知事の政治姿勢について

- ・多額の地方債を抱える道財政の状況についての認識及び今後の財政運営のあり方についての考え
- ・今後の道債返還計画及び中長期の財政収支計画の作成をはじめとした財政改革の取組み
- ・行政改革大綱が定められてから現在までの行政改革の取組みとその評価並びに問題点及び反省点
- ・設置したばかりの女性室、環境室等の部内室や支庁の政策部門等を今回の道政改革実施方針で見直すべきとしたことに対する見解及び今後の組織機構の改正に当たっての基本的な考え方
- ・道政改革実施方針におけるトップ・マネジメントを補佐する体制についての考え及び現在の体制の欠点
- ・権限が強化される支庁に対するチェック機能
- ・圏域担当副知事体制に対する見解
- ・道職員の削減に対する見解
- ・関与団体役職員への再就職見直し
- ・これまでに発見された新たな不正経理の実態並びにこの事態の知事としての受止め及び道民に対する釈明
- ・道内保健所の賃金執行に係るこれまでの調査状況及びその結果のまとまる時期
- ・新たに不正経理が判明した場合の処分及び返還方法
- ・元代表監査委員に関連した報道についての事実確認の有無及びこのことに対する見解
- ・千歳川放水路に関する開発局と漁業関係者との話し合い結果の受止め及び漁業者が理解を示さなかった内容
- ・道による千歳川放水路事業に係るこれまでの協力内容
- ・千歳川放水路事業に関する今後の検討事項及び道による積極的な働きかけ
- ・千歳川放水路事業が15年もの歳月を費やしていることに対する受止め
- ・千歳川放水路事業にかかわる三年計画の進み具合及びこの計画の課題達成に向けた道の取組み
- ・駒里地域から出された千歳川放水路事業に関する要望に対する道の回答及び9月24日の開発局による地元役員会に対する最終回答の内

容

- ・千歳川放水路計画に関する連絡会議の活用
- 2 第三次北海道長期総合計画について
  - ・多くの道民から頂いた意見や提言を計画に取り込む上での取捨選択の判断
  - ・計画素案説明会の目的達成の評価
  - ・戦略プロジェクトに関する関係団体や市町村からの意見及び新計画で引き続き取り組む必要のあるプロジェクト
  - ・国土庁が策定を進めている全国総合開発計画との調整
  - ・新計画に粒子線治療設備の設置を盛り込み、明年度にもそのための調査に着手することに対する見解
  - ・計画素案への農業振興目標及び食糧供給基地の役割を高めるための基盤づくりといった考え方の盛り込み並びに今後示される農業生産の指標に対する見解
  - ・計画素案におけるセンターオブエクセレンスの形成の具体的な構想
  - ・本道における今後の成長が見込まれる産業とその支援策及び育成のための条件整備
  - ・津軽海峡横断架橋の建設を新計画のプロジェクトの一つとして位置付け、その促進を図ることに対する見解
  - ・道央以外の道内各地を結ぶ航空路線の開設に対する考え
  - ・新航空会社設立の動きについて承知している内容及びこの動きへの対処
- 3 当面する道政課題について
  - ・地域別経済動向調査の結果
  - ・景気対策としての単独事業費の景気低迷地域への重点配分に対する見解
  - ・本道における産業廃棄物処理の現状と課題についての認識
  - ・産業廃棄物対策検討協議会における道の役割についての認識及び検討している事項並びに検討のスケジュール
  - ・農業系廃棄物のリサイクルの取組みに対する見解
  - ・漁業系廃棄物の処理方法の研究開発や処理施設の整備に対する支援策
  - ・農業振興条例案に対する道民意見聴取の方法、寄せられた意見の内容及びこれらの意見を踏まえた条例案の修正内容

- ・農業振興のための道独自の支援対策
- ・本道農業の再建にとって緊急を要する重要課題への対策を農業振興条例に盛り込むとともに積極的に取り組むことやその施策の裏付けとなる財源確保の手法
- ・21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業にかかわる多額の補正予算が計上されている理由及び当初予算における積算
- ・21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業計画策定状況並びに策定の場合の年度別事業量及び事業費又は未策定の場合における策定前段の地元要望の状況
- ・21世紀高生産基盤整備促進のための9年度国費予算の確保に向けた対処及び要求額
- ・21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業の対策期間に対する見解
- ・21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業の実施に伴う市町村による財政負担への対策
- ・漁港環境の実態についての認識及びその整備のあり方についての基本的考え
- ・漁港環境整備のための市町村に対する支援
- ・高齢者保健福祉計画の進捗状況及びその進捗状況の評価
- ・高齢者に対する在宅サービス整備の問題点及び道の行っている取組み内容
- ・高齢者に対する在宅サービス整備の市町村間格差の実態及びその格差を解消するための道の役割
- 4 教育問題について
  - ・現北海道教育長期計画の点検時期並びにその反省点及び評価
  - ・新しい教育計画を策定するに当たっての基本理念、基本的姿勢及び本道教育の目指す姿並びに教育計画策定のスケジュール
  - ・新教育計画検討会議の委員構成
  - ・過疎地域の要望を教育計画に反映させる仕組み
  - ・新教育計画に民間の教育的機関の意見を取り込むことに対する見解
  - ・中央教育審議会第1次答申の新教育計画への盛り込み方
- 5 公安問題について
  - ・本年の交通事故の発生状況及び交通死亡事故の特徴
  - ・交通事故防止の取組みに対する警察本部長の

## 見解

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時33分休憩。午後4時44分再開し、あらかじめ会議時間を延長の後、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があつて、午後5時19分延会。

○10月1日(火) 午前10時21分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第68号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、代表質問を継続。

段坂 繁美議員(社民)から、



### 1 知事の政治姿勢について

- ・21世紀に向けた時代の潮流や変化、住民の行政ニーズの変化についての認識
- ・新しい北海道の総合計画と道政改革との整合性及びその具体化
- ・14支庁体制の統合・再編の意図、特に保健所の支庁への統合問題における医療圏と支庁区域の整合性についての考え
- ・支庁体制再編の実施時期及び地域住民の合意を得るための手法
- ・道政改革民間フォーラムの提言や道民の声を重点的に推進するまでの見解及び決意
- ・米軍基地問題に関する沖縄県民投票結果の受止め及び米軍実弾射撃訓練の本道移転を踏まえた日米地位協定の見直しについての認識
- ・防衛庁から提示を受けた矢臼別演習場への米軍実弾射撃訓練移転に対する知事の姿勢
- ・実弾射撃訓練移転についての周辺市町村との連携に対する見解
- ・原発を巡る今日の情勢についての認識
- ・電源開発に関する幅広い協議機関の設置に対する見解
- ・環境影響評価のための調査の着手に対する道の考え方

- ・ITERの誘致期成会会長の立場と北海道知事としての行政責任に対する見解
  - ・北海道国際熱核融合実験炉安全問題協議会における協議内容及び結果の取りまとめ時期並びに幅広い意見の一層の聴取に対する見解
  - ・千歳川放水路事業に関して開発庁が基本的問題を未解決のまま計画を有利に進めようとしていることに対する見解
  - ・現実的でより有効な石狩川治水計画の推進に対する見解
  - ・国連軍縮会議の北海道誘致の取組み
  - ・国鉄労働組合員のJR不採用問題に対する見解
- ### 2 北海道の防災体制について
- ・北海道地域防災計画の見直し内容及びそのスケジュール
  - ・地域防災計画に冬季災害対策の位置付けを明確にすることに対する見解
  - ・阪神、淡路大震災を教訓とした自主防災組織の育成強化の取組み
  - ・防災体制にかかわるヘリコプターの整備に対する見解
- ### 3 JR宗谷本線の高速化等について
- ・財政面における地元自治体の負担のあり方が従前と大きく異なった理由
  - ・負担割合の検討に当たり関係市町村の財政事情を考慮することに対する見解
  - ・名寄、稚内間における今後の高速化の見通し
- ### 4 集団食中毒対策について
- ・O-157対策における一部保健所の対応を巡り地元市町村との間で意思の疎通を欠き十分な連携が図られていない旨の報道の事実
  - ・O-157の今後の具体的予防対策や原因の特定究明などの見通し
  - ・O-157による生鮮食品関連業者への影響の実態
  - ・道産品の安全性についてのPR活動
  - ・食中毒防止のための日常的な学校と保健所との連携
  - ・市町村から存続の要望がでている保健所の再編問題への取組み
- ### 5 農業問題について
- ・農業振興条例に本道農業の課題を明記することに対する見解
- ### 6 教育問題について

- ・新教育長期総合計画における意見聴取を通じた道民各層からの課題に対する認識
- ・新計画と生涯学習推進基本構想との整合性
- ・学級編成基準の改善に向けた現段階からの取組み
- ・適正配置計画における特例措置の今後の取扱い

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午前11時40分休憩。午後1時26分再開し、

板谷 實議員 (21'道民) から、



- 1 わが国の経済について
  - ・貿易収支の推移予想を含めた日本経済の状況に対する認識
  - ・実質経済成長率の今後の推移予想も含めた国の財政状況に対する認識
  - ・日本経済の見通し及び北海道経済の展望についての考え
- 2 北海道の抱える諸課題について
  - ・新聞、テレビ等における北海道の将来を危惧する報道に対する考え
  - ・北海道開発の意義についての認識
  - ・知事が考える日本における北海道必要論
  - ・国の財政赤字による公共事業依存体質となっている北海道の危機に対する意見
  - ・域際収支が今後悪化すると考えられることに対する見解及びその対処
  - ・新千歳空港が24時間運航になった後の国際貨物取扱量の推移並びに計画取扱量とのずれ及びその修正に向けた対応
  - ・千歳NEWSの今年度決算予想及び赤字だった場合の処置並びに黒字転換を見込む時期
  - ・NEWSの苦戦による今後のFAZ構想への影響
  - ・企業誘致による北海道製造業の強化が困難な状況に対する見解及びその対応策
  - ・企業立地促進条例改定に向けた知事の姿勢と

決意

- ・産業育成についての考え及び産業育成を重要施策として取り上げることにに対する見解
  - ・予想される第3次石油危機についての考え
  - ・今後のエネルギー源の推移についての考え
  - ・知事のITER誘致への今後の取組み姿勢と決意
  - ・泊発電所3号機の着工についての見通しと見解
  - ・市町村によって21世紀高生産基盤促進特別対策事業の取組み方に差が生じていることにに対する認識と今後の対応
  - ・21世紀高生産基盤促進特別対策事業に対する市町村からの要望量及び総事業費の程度
  - ・21世紀高生産基盤促進特別対策事業に係る市町村からの要望の取扱い
  - ・林野3法に基づく道としての取組み
  - ・森林整備の担い手の確保及び不在村者の所有森林の計画的整備
  - ・漁業関係者へのTAC制度周知の取組み及びこの制度による本道漁業者への影響に係る国への要望
  - ・NIES及びASEAN諸国からの観光客呼び込み対策
  - ・訪日客数最多の台湾からの旅行者のうちほとんどが北海道へ来ていない状況の対策
  - ・海岸における道路網の今後の整備計画
- 3 道政執行上の取組みについて
    - ・道職員の倫理観及び公僕意識欠如の回復についての見解
    - ・公僕にあるまじき行為、不法行為及び違法行為をした者に対する処分
  - 4 教育問題について
    - ・公立高等学校適正配置計画案作成の際、特に意を用いた内容及び昨年までの案と異なる点
    - ・特例2間口校についての考え方
    - ・公立高等学校適正配置計画案作成時に道教委及び公立高等学校入学者選抜改善検討委員会がまとめた意見から取り上げられた項目及び取り上げられなかった項目
    - ・昨年第3回定例会の予算特別委員会での適正配置に関する答弁内容に基づく対処
    - ・小規模校のあり方に関する地元関係者との協議の実情

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行

の都合により、午後2時40分休憩。午後3時2分再開し、

荒島 仁議員（公明）から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・道政活性化に向けた取組み、特に不祥事等が明らかにされている事態についての受止め及び対処
  - ・道政改革の基本方針及びその実施方針についての認識
  - ・道政改革の基本方針等に対する道民の理解
  - ・職員定数の大幅な削減計画策定に対する見解
  - ・支庁機能の充実を進めるなかで予想される様々な弊害や懸念への対処
  - ・在沖縄米軍実弾射撃訓練の本道移転問題に対する見解及び今後の対処姿勢
  - ・国際熱核融合実験炉の本道への誘致問題に対する見解
- 2 本道経済の活性化について
  - ・本道経済活性化についての理念と施策展開
  - ・本道工業振興のためのこれまでの取組みについての評価
  - ・本道産業構造の高度化を図り地場産業の振興を進めるための施策展開についての見通し及び関係条例の見直し内容
- 3 医療福祉問題について
  - ・本道における救急医療対策の現状についての認識
  - ・消防防災ヘリコプターはまなすの導入並びに防災航空室の設置や出動要請の事務手続きの簡素化及び迅速化に係るこれまでの成果
  - ・ヘリコプターによる救急運送体制の充実整備に向けた取組み
  - ・本道における小児医療の現状についての認識並びに小児総合保健センターの整備方針の策定及び施設の整備への取組み
  - ・今後の〇－157対策
  - ・福祉のまちづくりのための検討経過及び今後

の取組み

- 4 当面する道政上の諸課題について
  - ・農業振興条例の策定に向けた取組み
  - ・実効ある適正な水産資源の管理に向けた取組み
  - ・北海道マイホーム資金の見直し
- 5 教育問題について
  - ・新教育長期計画を策定する際の重点項目
  - ・現行教育長期計画の中で積み残された諸課題に対する取組み
  - ・社会情勢の急激な変化に伴う見直しを踏まえた現行教育長期計画
- 6 公安問題について
  - ・少年による覚せい剤などの薬物乱用の実態についての認識
  - ・薬物乱用の防止に向けた今後の取組み

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

上田 茂議員（新道政）から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・平成9年度における本庁組織の機構改正
  - ・効果的な予算編成システムの確立に向けた取組み
  - ・支庁制度の見直しを決意した理由
  - ・道政改革実施方針の進捗状況を点検し、その結果を公表することに対する見解
- 2 本道経済の現状認識などについて
  - ・本道域際収支が大幅な赤字である現状に対する認識
  - ・道民可処分所得のうち家計部門の伸び率が全国平均を下回っている要因と背景に対する認識
  - ・本道経済が国に依存している傾向にあることについての認識
  - ・今定例会に道単独事業を中心とした二百数十億円の景気対策予算を提案した理由
- 3 道政上の諸課題について

- ・地場工業等振興条例及び企業立地促進条例の改正に対する考え並びに現在検討している改正内容
  - ・創造的中小企業技術開発事業を補完する道単独事業の創設を検討することに対する見解
  - ・道有林の基本計画に盛り込まれる計画事項の目標達成見込み
  - ・道有林野事業の費用負担のあり方
  - ・道有林野事業の収入面及び事業面における効率化
  - ・環境基本条例における環境保全の基本的考え方
  - ・環境基本条例における事業者の責務を規定した条項の趣旨及び具体的内容並びにこの事業者の責務と公害防止条例等個別条例との関係
  - ・環境保全推進委員設置の趣旨、その役割、選任方法及び構成規模
  - ・地球環境の保全という観点からみた食糧自給問題についての認識及び本道農業施策への反映
  - ・優れた環境を保全する上での農業や農村の果たす役割についての認識及び今後の経営耕地面積の確保
  - ・道内港湾の国際化の推進についての考え及び港湾の管理体制に対する認識
  - ・道内空港の整備水準についての認識及び今後の空港整備の取組み
  - ・一次医療の状況についての認識及び一次医療提供体制の充実についての考え
  - ・現在の医療制度に対する認識及び現在策定を進めている新しい保健医療計画における基本姿勢
  - ・今後の政策医療の進め方についての考え
- 4 教育問題について
- ・公立高等学校適正配置計画案における「特例2間口校の導入」と道教委が作成した「課題と見通し」の中で示されている小規模校の取扱いの考え方との整合性
  - ・小規模校が所在する地域に期待するもの及び今後の高校適正配置への取組み
  - ・年度途中における道立高校2校の改築決定についての考え及びこの決定による校舎改築整備計画の改善内容
- 等について質問があり、あらかじめ会議時間を延長の後、知事及び教育長から答弁があつて、午後5時延会。

○10月2日(水) 午前11時12分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 決議案第1号**を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上採決に入り、簡易採決の結果、異議なく原案のとおり可決。

**日程第2 議案第1号ないし第68号及び報告第1号ないし第4号**を議題とし、一般質問に入り、**船橋 利実議員(自民)**から、

- 1 道の関与団体について
  - ・関与団体に対する基本的認識
  - ・関与団体と道の関係に対する見解
  - ・関与団体の分類方法、補助金等を受けている団体数及び出資金や補助金等の総額並びにその総額の10年前との比較
  - ・関与団体の実態把握並びに指導の順位付け及びその基準
  - ・関与団体への出資割合又は補助額の決定基準
  - ・昭和58年4月から平成7年3月まで関与団体の設立が多かった理由及びその前まであった団体との兼ね合い、特に出資割合25%未満の団体が多い理由
  - ・出資団体等総合調整委員会の開催状況及びその審議内容
  - ・出資団体等総合調整委員会が道理事者だけで構成されていることに対する見解
  - ・関与団体に関する要綱に出資金や補助金の減額に関する事項を盛り込むことに対する見解
  - ・横路前知事が次々と関与団体を設立して出資金や補助金の額を増やし続けてきたことに対する見解
  - ・道政改革の実施方針において推進することとしている関与団体の見直しについての決意
  - ・関与団体の見直しを進めていく中で道庁OB職員の取扱い要綱を見直しするという内容
- 2 監査体制について
  - ・監査委員の監査対象となる関与団体数及びそれらの団体への監査方法
  - ・道の関与団体に対する要綱による監査内容
  - ・財政的援助団体に係る監査の進め方の見直しに対する評価及び見直しをした内容における問題点
  - ・監査内容について検討を重ね意見を公表することに対する考え
- 3 J R北海道の高速化について
  - ・鉄道の高速化に対する道民からの要望の有無

及び道としての取組み

- ・宗谷本線高速化における事業費負担割合決定の根拠及び今後の他路線の高速化が行われる場合の負担割合並びに宗谷本線の高速化を図るための第3セクターの設立時期、出資比率及び組織運営のあり方

等について質問があり、知事及び代表監査委員から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により、午後零時9分休憩。午後1時49分再開し、

**沢岡 信広議員（社民）** から、

1 環境問題について

- ・北海道環境サポートセンターの早期実現に向けた所見
  - ・北海道環境科学研究センターの機能充実に対する見解
- 2 林業行政について
- ・森林の持つ公益的機能を発揮させるべきである道の責任に対する見解
  - ・山地災害危険地区整備の進捗状況及び計画的な整備を進めることに対する見解

等について質問があり、知事から答弁。

**竹内 英順議員（自民）** から、

1 中小企業における労働時間について

- ・小規模事業所における労働時間の現状についての認識
- ・国に対する労働時間短縮の猶予措置延長の要請についての考え
- ・中小企業における週40時間制への移行を円滑にするための道独自の対応策

2 林業担い手対策について

- ・森林整備の担い手対策基金の運用のあり方や事業の展開方法
- ・林業労働力確保支援センターの設置時期及び業務内容
- ・林業労働力の確保に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。

**星野 高志議員（社民）** から、

1 高齢者向け公営住宅について

- ・今後到来する本格的な高齢化社会に向けた公営住宅整備の考え方
- ・サンゴールドヴィラのあげた効果
- ・道内シルバーハウジングの展開方針

2 北海道植樹祭・森林の利活用について

- ・今後の植樹祭の取組み
- ・今後の植樹祭の取組み方法を検討する委員会

の設置

- ・各圏域の拠点的な森林利活用施設の整備に対する見解
  - ・道民の森のネットワーク化に対する見解
- 等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後2時53分休憩。午後3時19分再開し、

**本間 勲議員（自民）** から、

1 地方分権時代における行財政運営について

- ・道政改革民間フォーラムにおける支庁制度についての議論状況、その大要及び支庁制度の問題点についての把握
- ・分権時代における知事の支庁像
- ・支庁制度の見直しを検討する場、検討テーマ及び検討の開始時期
- ・これまでの予算編成における責任者
- ・政策主導型の予算編成システムの内容と仕組み及び政策総合調整部門と財政部門とのバランス
- ・北海道において単独事業の割合が少ない理由及びこの状況に対する見解
- ・地方分権時代の開発予算要望のあり方
- ・補助事業中心から単独事業中心へと転換していくことに対する見解

2 確認監査等について

- ・監査委員に対する確認監査の要請内容とその根拠
- ・平成7年11月及び平成8年2月に行った不正経理の調査に対する見解
- ・今回の調査趣旨、項目及び進め方についての職員への周知方法
- ・不正経理の自己申告体制に対する見解
- ・抽出監査の対象にならなかった部局への対応
- ・新たな不正経理が発見された場合の処分及びその返還方法
- ・ゴルフ場開発を巡っての元代表監査委員による利権行為の受止め
- ・監査委員の使命や責務に関する規定の有無、ない場合は規定整備の考えの有無
- ・確認監査の根拠
- ・自己申告禁止の有無
- ・確認監査の目的
- ・監査対象部局を全部局としない理由
- ・確認監査の方法
- ・関係人出頭に対する見解
- ・民間人の登用に対する見解

・監査結果公表の時期  
・確認監査による平成8年度定期監査への影響等について質問があり、知事及び代表監査委員から答弁。同議員から再質問、知事及び代表監査委員から答弁。同議員から発言。

**伊東 良孝議員（自民）** から、

1 水産問題について

- ・秋サケ価格と漁業経営状況の把握
- ・秋サケ価格の低迷原因についての分析
- ・これまで行ってきた秋サケ価格維持の施策及びその効果
- ・秋サケ魚価安対策や生産者の経営安定についての国への要望及び国が行ってきた取組み
- ・秋サケ定置漁業の実態、将来のあり方に対する考え及び今後の対策
- ・国のサケ・マスふ化放流事業見直し理由とその背景
- ・サケ・マスふ化放流事業見直しの内容、スケジュール及び予算措置
- ・国のサケ・マスふ化放流事業見直しに対する道の対応
- ・国がふ化放流事業においてシロザケに固執してきた理由、新しい魚種増殖の可能性とその見直し及び道による事業支援策
- ・これまでの北方海域における安全操業のための取組み
- ・今回の北方海域における銃撃事件について把握している内容及び銃撃事件後の安全操業の対策

2 北海道環境基本条例について

- ・条例の性格、位置付け及び他の環境関係条例との関連
- ・条例前文における表現の表す意味及びこれが環境権を意味する場合の環境基本法との関連
- ・環境基本計画の内容、計画の期間についての考え及び今後のスケジュール
- ・環境アセスメント条例についての評価や制度運用における課題又は問題点とその対処

等について質問があり、知事及び水産部長から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時58分延会。

○10月3日（木） 午前11時44分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第68号及び報告第**

**1号ないし第4号**を議題とし、一般質問を継続。

**鎌田 公浩議員（21'道民）** から、

1 道政における意思決定過程と附属機関等のかかりについて

- ・女性の審議会等への登用率の目標値及びその実現方法
- ・委員の在任期間、年齢制限に関する基準厳守の決意
- ・附属機関のあり方についての認識及び今後の見直し
- ・合議制機関等の会議に係る情報の公開に向けた情報公開条例の見直し

2 観光問題について

- ・本道観光の現状についての認識
- ・農林水産省で進めているグリーン・ツーリズムなど1次産業との連携による観光振興の進め方に対する見解
- ・観光案内板等充実の取組み
- ・オートキャンプ場の整備状況についての認識及び今後の整備の進め方
- ・自然との共生を考慮した観光についての認識及び今後の対応

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時19分休憩。午後2時5分再開し、

**加藤 和久議員（自民）** から、

1 第3次北海道長期総合計画について

- ・次期全総計画の柱となる複数国土軸の認識及び国土軸に対する見解
- ・適正人口の読み方並びに6地域生活経済圏及び20広域市町村圏の未来人口推計の読み方
- ・高齢化の著しい市町村からの高齢者福祉サービスに関する声についての認識及び安心して暮らせる住みよい社会づくりのための施策
- ・20広域市町村圏の10年から20年後の人口想定方法及びその想定した人口と新しい計画を語る会に示されている資料との整合性
- ・14支庁体制のあり方についての検討方法及びその結論の出る時期
- ・6地域生活経済圏のあり方などを住民や市町村が理解できる計画とするための取組み
- ・道政改革実施方針にある地域振興機構（仮称）と新計画素案にある地域編のパートナーシッププロジェクトとのそれぞれの理念、構想
- ・臨森林型産業都市構想や利雪・親雪プログラ

- ムなどを伸ばし続ける選択への熱意
- ・職員の地域への配置に対する見解
- ・支庁長の任期についての見解
- ・新しい計画を語る会に対する見解
- ・新しい総合計画と財政運営との関連
- 2 アジアにおける北海道の交流拠点等について
  - ・東アジア事務所設置に関する検討
  - ・東アジア事務所の機能及び活動エリア並びにシンガポールを適地とした理由
  - ・東アジア事務所設置場所に関する各自治体の意向調査結果
  - ・東アジア事務所の機能
  - ・東アジア事務所の活動内容

等について質問があり、知事及び商工労働観光部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**前田 康吉議員（新道政）** から、

- 1 防災体制などについて
  - ・道における防災体制及び災害対策業務が行える事務室の確保
  - ・庁舎等災害対策拠点施設の耐震化の取組み
  - ・土木現業所などとの通信ネットワークの整備
- 2 食肉の衛生対策について
  - ・輸入食肉の検疫体制
  - ・と畜場における病原性大腸菌O-157の検査結果
  - ・今後の試験検査体制に対する見解
  - ・と畜場の衛生管理の取組み
- 3 教育問題について
  - ・スクールカウンセラー実践校の成果
  - ・スクールカウンセラー配置の拡充についての考え
  - ・学社融合という新しい教育概念についての認識
  - ・これまでの学校教育と社会教育との連携
  - ・今後の学社融合の推進

等について質問があり、知事、保健環境部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後3時24分休憩。午後3時55分再開し、

**佐藤 英道議員（公明）** から、

- 1 人権問題について
  - ・人権教育等の重要性についての認識及び人権尊重を基本とした道政や教育行政の推進
- 2 福祉問題について
  - ・障害者スポーツに対する基本的な認識
  - ・障害者も健常者もともに使用できるスポーツ

- 施設の整備促進
- ・障害者スポーツの進行を図る方策
- ・乳幼児の障害早期発見及び早期療育の必要性についての認識
- ・視覚障害児早期療育事業の実施に対する見解
- ・発達の遅れのある乳幼児の早期教育相談についての認識及び本道における乳幼児の教育相談の現状
- ・道立特殊教育センターと養護学校等との連携による早期からの教育相談ができるシステムの整備

### 3 職員のボランティアについて

- ・職員のボランティア等の活動に対する見解
- ・人事委員長のボランティア休暇制度についての認識及び休暇の対象範囲についての考え
- ・ボランティア色の強い活動について評価する手法の確立及びボランティア休暇制度導入の考えの有無並びに休暇の対象とすべきボランティア活動の範囲と要件

### 4 住宅問題について

- ・北海道公営住宅条例等の改正の視点及び改正のスケジュール
- ・北海道公営住宅条例の改正に合わせた入居要件の見直し
- ・道営住宅入居時に必要な連帯保証人を見つけない高齢者や障害者に対する配慮

### 5 教育問題について

- ・宮崎県及び高知県における中高一貫教育の実施状況
- ・中高一貫教育についての認識及びその研究等の取組み
- ・重度、重複障害児対象の高等養護教育整備に向けた検討委員会における協議内容及びその開設予定時期
- ・高等部の訪問教育導入に向けた取組み
- ・訪問教育導入による障害児対象の高等部整備計画の変更に対する見解及び普通教室が空いている学校へのモデル的高等部の設置に対する見解

等について質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁。同議員から再質問、教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、

**大橋 晃議員（共産）** から、

- 1 知事の政治姿勢について

- ・消費税引上げ中止を政府に求めることに対する考え
  - ・国の増税理由に対する見解
  - ・普天間基地移設と実弾射撃演習場移転についての首相決意の受止め
  - ・実弾射撃演習場矢臼別移転反対の表明
  - ・新潟県巻町等に見られる原発反対世論の高まりに対する見解
  - ・MOX燃料の安全性についての認識及び道内におけるMOX燃料使用に対する見解
- 2 道政改革について
- ・宮城県等における会食等出席者の相手方氏名の公開に対する見解及び公開に向けた検討機関の設置、諮問、答申のスケジュール
  - ・平成7年度食糧費執行における請求書書換え件数とその金額、取扱要綱違反支出件数とその金額及び取扱要綱改正後に執行された違反支出件数とその金額並びに違法・違反支出に対する返還指導の有無
  - ・今回の監査結果の受止め及び全庁的な再調査実施の有無
  - ・外郭団体との会食に対する見解
  - ・道警における道費による平成7年度旅行命令件数及びその金額
  - ・道警における旅費等の重点監査の有無及びその結果明らかになった問題点
  - ・道警の旅費支出命令に関する証拠書類の公表
  - ・幹部職員の民間企業への再就職に対する規制
  - ・保健所の支庁への統合と北海道総合医療協議会意見書の無視に対する見解
  - ・来春予定の保健所の統廃合が先送りされた理由
  - ・事務事業の総点検結果に福祉切捨てにつながる内容が見受けられることに対する見解
- 3 道民生活・福祉問題について
- ・ウトナイ湖保全計画策定の進捗状況
  - ・トキサタマップ・オタルマップ両湿原保全の重要性についての認識
  - ・希少な小動物の保存に向けた取組み
  - ・イヌワシ等の生息実態調査の働きかけ
  - ・札幌市人事委員会の寒冷地手当削減先送り表明の受止め及び道人事委員会の取扱い
- 4 教育問題について
- ・間口の条件緩和に対する見解
  - ・35人以下の学級実現に対する見解

・美幌高校の定時制募集停止に対する見解等について質問があり、知事、保健環境部長、人事委員長、代表監査委員、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があって、質疑及び質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会にともに31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

蝦名 清悦（社民）	荒島 仁（公明）
野村 義次（自民）	本間 勲（自民）
丸岩 公充（自民）	水城 義幸（自民）
前田 康吉（新道政）	山田麟太郎（新道政）
滝口 信喜（社民）	林 大記（社民）
萩原 信宏（共産）	岡本 修（社民）
段坂 繁美（社民）	平出 陽子（社民）
山口 恵聖（社民）	板谷 實（21'道民）
加藤 和久（自民）	清水 誠一（自民）
高橋 定敏（自民）	山口幸太郎（自民）
高橋 一史（自民）	伊達 忠一（自民）
和田 敬友（自民）	勝木 省三（自民）
酒井 芳秀（自民）	水野 重男（21'道民）
吉田 恵悦（公明）	小池 昌（社民）
長沢 徹（社民）	舟山 広治（社民）
桜井 外治（自民）	

○決算特別委員（31人）

岡田 俊之（社民）	大裕 和則（21'道民）
工藤 敏郎（自民）	野村 義次（自民）
原田 裕（自民）	山田麟太郎（新道政）
林 大記（社民）	萩原 信宏（共産）
伊藤 政信（社民）	上田 茂（新道政）
森 成之（公明）	米沢 一喜（自民）
明田 辰義（自民）	清水 誠一（自民）
山口幸太郎（自民）	山崎 正隆（自民）
佐藤 時雄（自民）	野呂 善市（自民）
和田 敬友（自民）	水野 重男（21'道民）
吉田 栄（社民）	鯉谷 忠（社民）
佐々木隆博（社民）	森 敏捷（社民）
大内 良一（社民）	大島 一郎（社民）
神本 三也（社民）	伊藤 武一（公明）
山口 真人（自民）	湯佐 利夫（自民）
吉田 政一（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、10月4日は休会することに決定して、午後5時52分散会。

○10月7日（月） 午後2時5分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第68号及び報告第1号ないし第3号**を議題とし、予算特別、保健環境、総務、生活福祉、水産林務、農政、建設、文教の各委員長又は副委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。討論に入り、大橋 晃議員（共産）から、議案第10号ないし第33号及び第50号に関する反対討論並びに議案第1号、第5号、第6号及び第8号に関する賛成討論があつて討論終結。採決に入り、まず議案第10号ないし第33号及び第50号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決（共産反対）。次に議案第1号ないし第9号、第34号ないし第49号、第51号ないし第68号及び報告第1号ないし第3号を問題とし、簡易採決の結果、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決。

**日程第2 議案第70号及び第71号**を議題とし、知事から追加提出議案について説明の後、委員会付託を省略の上採決に入り、まず議案第70号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり同意議決（共産反対）。次に議案第71号を問題とし、簡易採決の結果、異議なく原案のとおり同意議決。

**日程第3 意見案第1号ないし第3号**を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上討論に入り、萩原信宏議員（共産）から意見案第2号に関する反対討論及び意見案第1号に関する賛成討論があつて討論終結。採決に入り、まず意見案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決（共産反対）。次に意見案第1号及び第3号を問題とし、簡易採決の結果、いずれも異議なく原案のとおり可決。

閉会中継続審査の件について、決算特別委員長から申出のとおり、報告第4号を閉会中継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長から申出のとおり閉会中継続審査及び調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第4号を除きすべて議了。

簡易採決により、本日をもって会期中閉会することを決定。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後2時46分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

ご承知のとおり、本委員会は10月3日に設置され、平成8年度各会計補正予算案5件が付託されたのでありますが、本委員会といたしまして、同日、直ちに正・副委員会の互選を行うとともに、2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行い、10月4日から各部所管の審査に入り、10月5日をもって各分科会の質疑を終了し、続いて、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配布の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会としては、同日、分科会終了後、理事会におきまして各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号ないし第5号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

- 1、「道政改革の実施方針」に基づく改革の推進に当たっては、議会の論議を十分踏まえるとともに、その効果が早期に発現するよう全庁を挙げて取り組むべきである。

- 1、本道においては、依然として景気の低迷している地域があることから、景気対策予算の配分及び執行に当たっては、地域の実情などを十分考慮するとともに、より効果が上がるよう努めるべきである。

との意見を付された旨の動機が提出され、採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

### 第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 25	1	平成8年度北海道一般会計補正予算(第2号)	予算特別	10. 7	原案可決
同	2	平成8年度北海道札幌医科大学医学部附属病院特別会計予算(第1号)	同	同	同
同	3	平成8年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	4	平成8年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	5	平成8年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	北海道環境基本条例案	保健環境	同	同
同	7	北海道災害対策本部条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	8	北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例案	生活福祉	同	同
同	9	北海道立漁業研修所条例案	水産林務	同	同
同	10	北海道総合行政情報ネットワーク整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	総 務	同	同
同	11	農地開発事業(農地再編関連整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	同	同
同	12	畑地帯総合土地改良事業(担い手育成畑地帯総合整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	13	ほ場整備事業(高生産性大区画ほ場整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	14	ほ場整備事業(担い手育成基盤整備[区画整備型])に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	15	草地基盤整備(公共牧場整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	16	ため池等整備事業(利活用保全施設整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	17	ため池等整備事業(自然環境保全整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	18	中山間地域総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	19	中山間地域総合整備事業(ふるさと・水と土保全モデル)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	20	農村活性化住環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	21	農村総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	22	農村自然環境整備事業(総合型)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	23	水環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	24	広域営農団地農道整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	25	広域営農団地農道整備事業(農道離着陸場整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	26	一般農道整備事業(集落間農道整備)に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	27	農道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	28	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	29	街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	30	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	同	同
同	31	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	32	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	33	林道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	34	損害賠償請求事件における和解の件	総 務	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 25	35	北海道道の路線の認定に関する件	建設	10. 7	原案可決
同	36	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築工事）に関する件	総務	同	同
同	37	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築電気設備その1工事）に関する件	同	同	同
同	38	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築電気設備その2工事）に関する件	同	同	同
同	39	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築冷暖房設備その1工事）に関する件	同	同	同
同	40	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築電気設備その3工事）に関する件	同	同	同
同	41	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築空調和設備工事）に関する件	同	同	同
同	42	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築衛生設備その1工事）に関する件	同	同	同
同	43	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築衛生設備その2工事）に関する件	同	同	同
同	44	工事請負契約の締結（札幌医科大学基礎教育研究棟等改築冷暖房設備その2工事）に関する件	同	同	同
同	45	工事請負契約の締結（道道小樽環状線道路改良〔望洋台トンネル〕工事）に関する件	建設	同	同
同	46	工事請負契約の締結（道道霧立小平線道路改良〔霧平トンネル〕工事）に関する件	同	同	同
同	47	工事請負契約の締結（3・4・50鈴蘭新通鈴蘭大橋新設工事〔上部工〕）に関する件	同	同	同
同	48	工事請負契約の締結（函館市道宮高層住宅新築工事〔田家団地C-I〕）に関する件	同	同	同
同	49	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	文教	同	同
同	50	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築工事〔管理・研修棟〕）に関する件	同	同	同
同	51	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築工事〔サブアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	52	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築空調和設備工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	53	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築冷暖房設備工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	54	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築大型映像表示設備工事）に関する件	同	同	同
同	55	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築電気設備その2工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	56	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築電気設備その3工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	57	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築電気設備その1工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	58	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築衛生設備工事〔メインアリーナ棟〕）に関する件	同	同	同
同	59	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築電気設備その2工事〔管理・研修棟〕）に関する件	同	同	同
同	60	工事請負契約の締結（北海道立体育センター改築電気設備その1工事〔管理・研修棟〕）に関する件	同	同	同
同	61	工事請負契約の締結（中央警察署庁舎新築工事〔第2工区〕）に関する件	総務	同	同
同	62	工事請負契約の締結（中央警察署庁舎新築冷暖房設備工事）に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 25	63	工事請負契約の締結（中央警察署庁舎新築電気〔強電〕設備工事）に関する件	総務	10. 7	原案可決
同	64	財産の取得（物品・連続血管撮影装置一式）に関する件	同	同	同
同	65	財産の取得（土地・新紋別空港用地）に関する件	建設	同	同
同	66	財産の取得（土地・道立ゆめの森公園用地）に関する件	同	同	同
同	67	財産の取得（土地・北海道札幌地区養護学校用地）に関する件	文教	同	同
同	68	損害賠償の額の決定に関する件	総務	同	同
9. 30	69	平成8年度北海道一般会計補正予算（第3号）		9. 30	同
10. 7	70	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		10. 7	同意議決
同	71	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 25	1	専決処分報告につき承認を求める件（石狩東部広域水道企業団の規約の変更に関する件、平成8年7月29日専決処分）	保健環境	10. 7	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（石狩西部広域水道企業団の規約の変更に関する件、平成8年7月29日専決処分）	同	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（石狩湾新港管理組合の規約の変更に関する件、平成8年7月29日専決処分）	建設	同	同
同	4	平成7年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	同	継続審査 報告のみ
同	5	平成7年度北海道継続費精算報告の件			
同	6	平成7年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	7	平成7年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	8	平成7年度北海道美術品取得基金の運用に関する件			同
同	9	専決処分報告の件（町を市とする処分等に伴う関係条例の整理に関する条例、平成8年8月28日専決処分）			同
同	10	専決処分報告の件（慰謝料請求事件における和解の件、平成8年8月22日専決処分）			同
同	11	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に関する件、工事請負契約の締結〔平成7年7月17日議決を経た議案第20号に係るもの〕平成8年8月30日専決処分）			同
同	12	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に関する件、工事請負契約の締結〔平成7年7月17日議決を経た議案第21号に係るもの〕平成8年8月30日専決処分）			同
同	13	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に関する件、工事請負契約の締結〔平成6年12月9日議決を経た議案第27号に係るもの〕平成8年9月4日専決処分）			同
同	14	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成8年7月12日2件、平成8年8月12日2件、平成8年8月15日1件、平成8年8月22日1件、平成8年8月30日5件、平成8年9月6日1件、平成8年9月11日2件、平成8年9月12日6件、平成8年9月13日1件）			同

### 第3回定例会において議員から提出のあった案件

#### 決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
10. 2	1	KLMオランダ航空による北海道・ヨーロッパ定期路線開設に関する決議	小野寺 勇議員ほか9人	10. 2	原案可決

#### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
10. 7	1	社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することに関する意見書	永井 利幸議員ほか13人	10. 7	原案可決
同	2	道路特定財源堅持等に関する意見書	伊達 忠一議員ほか13人	同	同
同	3	地方分権の推進に関する意見書	西村 慎一議員ほか17人	同	同

## 決 議

### 決議案第1号 KLMオランダ航空による北海道・ヨーロッパ定期路線開設に関する決議

平成8年3定  
小野寺 勇議員ほか9人提出  
平成8年10月2日 原案可決

新千歳空港は、欧米とアジア間の航空ネットワークを形成する上で地理的優位性を有し、地域の国際化を図る上でも重要な拠点空港として、24時間運用の実現など機能の充実が図られてきている。

これまで、同空港における国際定期路線の拡充については、道民が一丸となって努力を続けてきており、特にヨーロッパ並びに北米方面との定期便就航の実現に寄せる道民の期待は極めて大きいものがある。

このような情勢の中、オランダ政府では、今般の日蘭航空交渉においてKLMオランダ航空による「アムステルダム－札幌－名古屋」路線の開設を提案する運びとなっている。

よって、国においては、北海道民の熱望を汲み取られ、来る二国間航空協議の場において、日蘭間の新たな航空路線の開設について合意が図られるよう強く求める。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

## 意 見 書

### 意見案第1号 社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することに関する意見書

平成8年3定  
永井 利幸議員ほか13人提出  
平成8年10月7日 原案可決

健康保険、厚生年金保険、国民年金などの社会保険行政に関する事務は、都道府県知事に機関委任されており、これらの事務に従事する職員は、知事の指揮監督を受けることとされているが、地方自治法附則第八条の「政令で定める職員は、当分の間官吏とする。」との暫定規定により「地方事務官」とされている。

このように、社会保険行政にかかわる職員は、本来、都道府県職員であり、業務面では知事の指揮監督を受けながら、人事及び給与面では国の指揮監督を受けるという変則的な立場におかれている。

社会保険行政は、社会保障制度の主要な分野として住民生活に不可欠のものであり、これを真に地域住民の生活に直結した制度として確立するためには、この事務を「地方分権推進法」の主旨からも都道府県に移管し、職員の身分は地方公務員とすることが適当であり、左記事項の実現につき、所要の措置が講ぜられるよう強く要望する。

記

- 1 社会保険行政は、都道府県の事務とし、社会保険事務所を都道府県の行政機関とすること。

2 社会保険行政に従事する職員の身分を地方公務員とすること。

3 この措置についての財源保障を行うこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣

大蔵大臣

厚生大臣

自治大臣

総務庁長官

各通

### 意見案第2号 道路特定財源堅持等に関する意見書

平成8年3定

伊達 忠一議員ほか13人提出

平成8年10月7日 原案可決

道路は、国民生活の向上と経済の発展を図る上で、最も基本となる社会資本であり、ことに広域分散型社会を形成している北海道においては、根幹となる高規格幹線道路から、住民に密着した市町村道に至る道路網の整備を、なお一層推進する必要がある。

その実現のためには、第11次道路整備5箇年計画の完全達成が不可欠となる。

よって、次の事項について強く要望する。

#### 記

1 第11次道路整備5箇年計画の完全達成のため、道路整備費の大幅な拡大確保が図られるよう配慮すること。

1 ガソリン税、軽油引取税、自動車取得税等の道路特定財源諸税の現行の税率を絶対に堅持するとともに、地方の道路整備財源について充実強化すること。

また、一般財源の投入を大幅に拡大すること。

1 高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備や交通安全対策等、安全で快適な環境づくりを推進すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣

大蔵大臣

通商産業大臣

建設大臣

自治大臣

北海道開発庁長官

各通

意見案第3号 地方分権の推進に関する意見書

平成8年3定  
西村 慎一議員ほか17人提出  
平成8年10月7日 原案可決

先般取りまとめられた地方分権推進委員会の中間報告は、国と地方の役割分担の明確化、機関委任事務制度の廃止、国と地方公共団体間の係争に係る第三者機関の設置など、国と地方公共団体の新たな関係のための抜本的な改革の方向を明らかにしており、地方自治体の総意が反映されたものと高く評価している。

北海道議会は、実効ある地方分権の推進に向けた体制づくりと自己変革など幅広い議論が続いているが、21世紀を目前にして、住民一人一人が豊かさを実感できる潤いと活力に満ちた地域社会を築くためには、地域の自主性・自立性を尊重する地方分権を推進することが今や国民的最優先課題であり、地方分権推進計画作成のための具体的指針の勧告の持つ意義は極めて大きいものがあると考えます。

よって、地方分権推進委員会におかれては、間近に予定されている具体的な指針の勧告において、中間報告に沿った国と地方の役割分担に応じた行政事務の再配分、地方税財源の充実確保と新しい行政関係調整ルールの確立を図るものとされるよう強く要望する。

また、政府においては、この勧告に基づき地方自治体の自主的な行財政運営が可能となる地方分権推進計画を速やかに作成し、真に実効性のある地方分権の実現に万全を期するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣  
自治大臣  
内閣官房長官  
総務庁長官

各通

## 請 願・陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
57	「アイヌ新法」の具体化について求める件	アイヌ問題を考える懇話会 常任代表理事・事務局長 田中 了	生活福祉	継続審査
58	道立保健所の削減に反対し、一層の機能強化を求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫 外4人	保健環境	同
59	巨額の道費投入による道議会新庁舎の建設中止を求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	総 務	同
60	透析患者の入院時食事療養費への重度心身障害者医療給付事業の適用を要望する件	北海道腎臓病患者連絡協議会 会長 岩崎 薫	保健環境	同
61	養護学校の訪問教育に高等部を早急に設置することを求める件	北海道訪問教育親の会 代表 小泉 饒	文 教	同
62	小売業の元日営業自粛に関する件	日本商業労働組合連合会北海道地区 区会議議長 三戸部 博	商工労働 観 光	同
63	道費巨額不正問題の徹底糾明を求める件	明るい革新道政をつくる会 代表世話人 廣谷 睦男 外14人	総 務	同
64	苫小牧東・苫小牧工業高校の間口削減反対、私立高校生への直接助成の増額を要求する件	苫小牧公立高校新設をすすめる会 代表 佐藤 弘毅	文 教	同

### 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
19	北海道知事が加えた損害に対する補償に関する件	札幌市北区 内村 敏正	保健環境	継続審査
20	阪神・淡路大震災被災者への公的助成災害補償の実現と激甚災害対策確立についての意見書の提出を求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	総 務	同
21	住居地域に隣接するゴルフ練習場開発に反対し、森林環境の保全を求める件	真駒内南町7丁目町内会 会長 小野寺 繁	水産林務	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 書	付託委員会	審査の結果
50	精進川河畔林保全に関する件	豊平・自然と暮らしを見つめる市民の会 代表者 川路 仁子	建 設	不採択
51	精進川河畔林保全を求める件	平岸1条7丁目に隣接する精進川を見つめる会 代表者 山内 洋子	同	同
54	精進川河畔林を含む河川敷地の買い戻し、保全を求める件	北海道大学大学院地球環境科学研究科地球生態学講座 北海道の森と川を語る会 代表 小野 有五	同	同
53	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 小岸 昭彦	文 教	議決不要

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
18	精進川段丘崖河畔林買い戻しと保全に関する件	精進川を楽しむ会 世話人代表 柴田 昭司 外2名	建 設	不採択

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

- 9月18日(水) 開議 午後1時20分  
散会 午後1時27分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)
- 元議員の逝去について
    - 工藤万砂美氏の逝去(歌志内市選出、第19期、空知支庁選出、第20期～第21期、札幌市中央区選出、第24期、8月27日逝去)について報告。
  - 議員の辞職等について
    - 綿貫健輔議員(改革)から、7月23日、議員辞職願の提出があり、議長が同日付けをもってこれを許可した旨報告。
    - 各派所属議員数が、自民51人、社民34人、21'道民7人、公明6人、新道政6人、共産2人、改革1人、新社1人、無所属1人となった旨報告。
    - 橋 浪蔵議員(改革)から、本委員会に委員外議員として出席はしないが、決定事項については遵守する旨申出があったことについて了承。
    - 改革議員室には4階の第3共用会議室を充て、これまでの改革議員室は共用会議室とする。
      - 綿貫議員の議席は空席とする。
    - 欠員となった企業会計決算特別委員に、萩原信宏議員(共産)を7月25日付けをもって補欠選任した旨報告。
    - 改革が2名から1名になったことに伴い、総合開発調査、エネルギー問題調査及び地方分権・行政改革問題調査特別委員の配分1について、いずれも共産となる旨確認。
    - 欠員中の地方分権・行政改革問題調査特別委員に、萩原信宏議員(共産)を本日付けをもって補欠選任した旨報告。
    - 委員配分のない改革が委員となっているエネルギー問題調査特別委員は、前期については委員の交代を行わないことに決定。
  - 第3回定例会について
    - 招集日を9月25日とする。
    - 会期は22日間とする。
    - 総務部長から提出予定案件について説明。

・日程について次のとおり進める。

### ▽ 第3回定例会

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| 9月25日   | 本会議                    |
| 26日～29日 | 休会                     |
| 30日     |                        |
| ～10月1日  | 本会議(代表質問)              |
| 10月2日   | 本会議(代表質問、一般質問)         |
| 3日～4日   | 本会議(一般質問)              |
| 5日～6日   | 休会                     |
| 7日      | 本会議(一般質問、予算・決算特別委員会設置) |
| 8日～15日  | 休会                     |
| 16日     | 本会議                    |
- 代表質問について
    - 順位は、自民、社民、21'道民、公明、新道政とする。
    - 各会派の発言時間使用状況は、配付別紙のとおり。
  - 企業会計決算特別委員会の審議状況について
    - 前会より継続審査中の報告第34号ないし第38号平成7年度北海道各事業会計決算については、8月23日の委員会において、報告第34号及び第35号は意見を付し認定議決、報告第36号及び第37号は認定しないことに、報告第38号は認定議決と決定し、審議を終了した旨報告。
    - 本件は第3回定例会招集日の本会議において委員長報告を行い議決する。
  - 請願・陳情の審査について
    - 建設委員会から審査結果報告のあった請願・陳情については、第3回定例会招集日の本会議において議決する。
  - 道議会庁舎等構内整備構想設計競技の審査結果について
    - 総務部長報告のとおりとする。
- 9月24日(火) 開議 午後1時23分  
散会 午後1時26分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)
- 第3回定例会提出議案について
    - 総務部長から説明。
  - 代表質問について

- ・ 通告は9月27日（金）正午までとする。
- 3 一般質問について
- ・ 順位は従来の例（十分比方式）による。
  - ・ 10番目については公明と新道政が同率のため、両会派間で調整し、結果を後日報告する。
  - ・ 諸派の順位について、所属議員数が同数で2派以上の通告がある場合は、輪番制とする。
  - ・ 通告は9月30日（月）正午までとする。
- 4 予算及び決算特別委員会について
- ・ 委員会構成及び正副委員長の配分は、配付資料の協議事項記載のとおりとする。
  - ・ 委員名簿は10月4日（金）正午までに提出する。
- 5 休会について
- ・ 議案調査のため9月26日から27日まで休会し、9月30日（月）再開する。
- 6 議場コンサートについて
- ・ 10月2日（代表質問終了日）の昼休み本会議休憩中に実施する。
  - ・ 配付資料の実施要領案のとおり開催する。
- 7 9月25日の本会議議事順序について
- ・ 明日の委員会において協議する。
- 8 議会運営に関する検討事項について
- ・ 配付資料の決定事項のとおり改正する。
- 9 日程等について
- ・ 会期中にも衆議院の解散及び総選挙の告示が行われる情勢にあるが、確定した時点で日程を含めた運営等について改めて協議する。
- 9月25日（水） 開議 午前10時30分  
散会 午前10時34分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）
- 1 本日の本会議議事順序について
    - ・ 事務局長説明のとおりとする。
  - 2 9月30日月曜日の本会議開会時刻について
    - ・ 午前10時に会議を開くことを決定。
- 9月30日（月） 開議 午前9時48分  
散会 午前9時50分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）
- 1 追加提出議案について
    - ・ 総務部長から説明。
    - ・ 本日の本会議冒頭において知事の提案説明を
- 行い、急施を要する案件と認め先議することとし、委員会付託を省略の上議決する。
- 2 代表質問について
- ・ 通告（5名）について報告。
  - ・ 本日と明10月1日の2日間の日程とし、本日2名、明日3名行う。
- 3 本日の本会議議事順序について
- ・ 事務局長説明のとおりとする。
- 10月1日（火） 開議 午前9時47分  
散会 午前9時49分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）
- 1 本日の本会議について
    - ・ 代表質問4名を行う。
  - 2 一般質問について
    - ・ 通告（11名）について報告。
    - ・ 順位の10番目は新道政となった旨了承。
    - ・ 個人別順位は配付資料の通告一覧のとおり決定。
    - ・ 明10月2日は6名行い、その後の進め方については改めて協議する。
  - 3 本日の本会議議事順序について
    - ・ 事務局長説明のとおりとする。
- 10月2日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時12分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）
- 1 一般質問について
    - ・ 通告内容等の変更について了承。
    - ・ 本日6名、明日5名行い、その後の進め方は改めて協議する。
  - 2 予算及び決算特別委員会について
    - ・ 委員名簿は本日正午までに提出する。
  - 3 決議案の取扱いについて
    - ・ 決議案第1号の提出があり、本日の本会議冒頭において議決する。
  - 4 総合開発調査特別委員長の本会議欠席について
    - ・ 総合開発調査特別委員長は、定期路線開設に関する中央要請のため、本日午後の本会議を欠席する旨了承。
  - 5 副知事の本会議欠席について
    - ・ 林副知事は、全国老人福祉施設大会開会式出

席のため、午後1時から1時間、本会議を欠席する旨了承。

6 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

委員長から、本日昼休み休憩中に実施する議場コンサートの周知依頼の発言。

○10月3日(木) 開議 午前11時14分  
散会 午後1時24分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 一般質問について

- ・通告内容等の変更について了承。
- ・本日5名行う。

2 予算及び決算特別委員会について

- ・本日一般質問終了後、両特別委員会を設置する。
- ・両特別委員会の委員配分については、配付別紙の協議事項記載のとおり決定した旨報告。
- ・配付の名簿のとおり、委員を選任する。

3 議案の各委員会付託について

- ・事務局長説明のとおりとする。

4 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。
- (午前11時17分休憩、午後1時23分再開。)

5 今後の日程について

- ・以下のように変更

10月3日 本会議(一般質問、予算・決算特別委員会設置)

4日～6日 休会

7日 本会議

6 休会について

- ・各委員会付託議案審査のため10月4日は休会し、10月7日(月)再開する。

7 本日の本会議議事順序について

- ・配付別紙のとおり了承。

○10月7日(月) 開議 午前9時45分  
散会 午後1時34分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 各委員会付託議案の審議状況について

- ・予算特別委員会は議了したが、各常任委員会付託議案は議了していない旨報告。

(午前9時46分休憩、午後1時32分再開。)

2 各委員会付託議案の審議状況について

- ・予算5件、保健環境3件、総務17件、生活福祉1件、水産林務5件、農政18件、建設9件、文教13件、以上71件については、すべて議了した旨報告。

3 閉会中継続審査を要する議案について

- ・決算特別委員会において審査中の報告第4号については、継続審査することに決定した旨報告。

4 追加提出議案について

- ・総務部長から説明。
- ・本日の本会議において議決する。

5 意見案の取扱いについて

- ・意見案第1号ないし第3号の提出があり、本日の本会議において議決する。

6 閉会中継続調査申出の件について

- ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。

7 本定例会について

- ・付議された案件が議了したことから、本日をもって閉会することに決定。

8 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

## 常任委員会

### 総務委員会

- 8月6日(火) 開議 午後1時29分  
散会 午後2時5分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、公文書紛失に関する調査結果の件について説明。  
石井孝一委員(自民)から質疑及び要望

- 9月3日(火) 開議 午後1時25分  
散会 午後1時28分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 一般議事

- ① 平成9年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

- 9月24日(火) 開議 午前10時24分  
散会 午後零時7分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 行政管理室長から、事務事業の総点検結果及び道政改革の実施方針について報告。  
原田 裕委員(自民)から質疑及び意見  
(関連して湯佐利夫委員(自民)、久田恭弘委員(自民)から意見)
- ③ 監査委員事務局長から、全庁的調査結果の確認監査に係る実施状況について説明。  
石井孝一委員(自民)から質疑及び意見  
(関連して清水誠一委員(自民)から質疑及び意見)

- 10月7日(月) 開議 午前10時40分  
散会 午前10時56分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

### 付託案件の審査

- 議案第7号  
北海道災害対策本部条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

- 議案第10号  
北海道総合行政情報ネットワーク整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

- 議案第34号  
損害賠償請求事件における和解の件 (原案可決)

- 議案第36号ないし議案第44号  
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

- 議案第61号ないし議案第63号  
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

- 議案第64号  
財産の取得に関する件 (原案可決)

- 議案第68号  
損害賠償の額の決定に関する件 (原案可決)

#### 一般議事

- ① 社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することに関する意見書の発議を決定。
- ② 人事委員会事務局長から、平成8年職員の給与等に関する報告及び給与改定に関する勧告について説明。
- ③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

### 生活福祉委員会

- 8月6日(火) 開議 午後1時40分  
散会 午後3時35分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男(21'道民)

#### 一般議事

- ① 生活福祉部長から、請願第48号・第56号について説明。  
大橋 晃委員(共産)から質疑
- ② 生活福祉部長から、ゆうあいピック北海道大会開催準備状況について説明。
- ③ 星野高志委員(社民)から質疑  
財団法人北海道盲導犬協会について

佐藤英道委員（公明）から質疑

- (1) 病原性大腸菌の感染の予防対策について
- (2) 特別養護老人ホームの待機者について
- (3) 市町村高齢者サービス調整チームについて
- (5) 在宅福祉について

#### 本日聴取した請願

乳児保育等の充実を求める件

（請願第48号）

北海道保育団体連絡会

道民の願いにこたえ、「いつでも」「だれでも」  
利用できる福祉施設の充実を求める件

（請願第56号）

全国福祉保育労働組合北海道地方本部

- 9月3日（火） 開議 午後1時20分  
散会 午後2時5分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

#### 一般議事

- ① 生活福祉部長から、厚岸町立保育所における「腸管出血性大腸菌O-157」感染者の発生について報告。
- ② 佐藤英道委員（公明）から質疑  
北海道青少年保護育成条例の見直しについて  
大橋 晃委員（共産）から質疑  
訪問販売等による消費者被害の実態と対策について

- 9月24日（火） 開議 午前10時38分  
散会 午前10時48分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

#### 一般議事

- ① 生活福祉部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。

- 10月7日（月） 開議 午前11時20分  
散会 午前11時34分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

#### 付託案件の審査

議案第8号

北海道青少年保護育成条例の一部を改正する  
条例案 （原案可決）  
大橋 晃委員（共産）から質疑

#### 一般議事

- ① 生活福祉事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

### 保健環境委員会

- 8月6日（火） 開議 午後2時5分  
散会 午後3時15分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一（社民）

#### 一般議事

- ① 平成9年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 岩見沢保健所の庁舎及び業務概要等に関する視察の実施概要の報告を了承。
- ③ 保健衛生及び環境保全事情に関する道内調査の実施を決定。
- ④ 保健環境部長から、専決処分について報告。
- ⑤ 保健環境部長から、病原性大腸菌O-157対策について報告。
- ⑥ 保健環境部長から、北海道環境基本条例案骨子について報告。
- ⑦ 保健環境部長から、北海道電力（株）泊発電所における火傷事故と安全協定について報告。
- ⑧ 保健環境部長から、稚内市における一般廃棄物処理施設の設置について報告。
- ⑨ 保健環境部長から、道立病院の再編整備と経営健全化の方策の推進状況等について報告。
- ⑩ 山口幸太郎委員（自民）及び萩原信宏委員（共産）から質疑  
病原性大腸菌O-157対策について

- 9月3日（火） 開議 午後1時37分  
散会 午後2時22分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一（社民）

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、病原性大腸菌O-157対策について報告。
- ② 保健環境部長から、北海道環境基本条例案骨子に係る北海道環境審議会の答申について報告。
- ③ 保健環境部長から、苫小牧東部地域に係る環

境影響評価について報告。

- ④ 保健環境部長から、屈斜路湖で発見された砲弾状の物体について報告。
- ⑤ 保健環境部長から、知床国立公園特別保護地区内民有地の買い上げについて報告。
- ⑥ 保健環境部長から、「道民健康づくりの日」の制定及び関連行事について報告。
- ⑦ 保健環境部長から、苫小牧市における水道水の異臭問題について報告。
- ⑧ 萩原信宏委員（共産）から質疑  
静内町の集団食中毒について

○9月24日（火） 開議 午前10時48分  
散会 午前11時7分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一（社民）

#### 一 般 議 事

- ① 保健衛生及び環境保全事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 保健環境部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 萩原信宏委員（共産）から質疑  
フロンの回収促進について

○10月7日（月） 開議 午前10時49分  
散会 午前11時17分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一（社民）

#### 付託案件の審査

##### 議案第6号

北海道環境基本条例案に関する件

（原案可決）

神本三也委員（社民）及び萩原信宏委員（共産）から質疑、意見及び要望

##### 報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件

（承認議決）

##### 報告第2号

専決処分報告につき承認を求める件

（承認議決）

#### 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、北海道野生動物保護管理指針について報告。
- ② 請願・陳情について、開会中継続審査の申出をすることを決定。

- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 商工労働観光委員会

○8月6日（火） 開議 午後1時36分  
散会 午後2時14分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄（社民）

#### 一 般 議 事

- ① 平成9年度北海道開発関係予算及び公共職業安定所の出張所等の整理統合問題に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 竹内英順委員（自民）から質疑及び要望  
労働時間の短縮問題について  
平出陽子委員（社民）から質疑及び要望  
労使紛争等について

○9月3日（火） 開議 午後2時42分  
散会 午後3時5分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄（社民）

#### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、北海道東アジア事務所（仮称）の設置について説明。  
竹内英順委員（自民）から質疑
- ② 商工労働観光部長から、「苫小牧東部地域に係る環境影響評価書」の概要について説明。

○9月24日（火） 開議 午前10時35分  
散会 午前10時41分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄（社民）

#### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員会運営に関し、委員会への出席説明員の範囲については、昨年6月の理事会で決定したとおりとすることを確認。
- ③ 商工労働観光事情に関する道外調査の実施を決定。

○10月7日（月） 開議 午前10時45分  
散会 午前11時  
第8委員会室

委員長 大平 盛雄 (社民)

### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、公共職業安定所の整理統合問題について説明。
- ② 商工労働観光部長から、「'96北海道フェスティバル」の計画概要について説明。  
水野重男委員 (21'道民) から質疑
- ③ 「'96北海道フェスティバル」の出席者を決定。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

○10月22日 (火) 開議 午後1時15分  
散会 午後1時47分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄 (社民)

### 請願・陳情の審査

請願第62号

小売業の元日営業自粛に関する件  
(継続審査)

平出陽子委員 (社民) 及び沢岡信広委員 (社民) から質疑

### 本日聴取した請願・陳情

請願第62号

小売業の元日営業自粛に関する件  
日本商業労働組合連合会北海道地区会議  
議長 三戸部 博

## 農 政 委 員 会

○8月6日 (火) 開議 午後1時38分  
散会 午後2時49分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄 (自民)

### 一 般 議 事

- ① 平成9年度農業関係国費予算要望に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政事情に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。  
岡田俊之委員 (社民) 及び村井宣夫委員 (21'道民) から質疑及び要望
- ④ 土田 弘委員 (社民) から質疑及び要望  
農業振興条例について

- ⑤ 吉野之雄委員 (社民) から質疑  
台湾、韓国における農業生産資材の実態調査結果及び農業生産資材の低減方策について

○9月3日 (火) 開議 午後1時35分  
散会 午後2時36分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄 (自民)

### 一 般 議 事

- ① 農政部長から、平成9年度農業関係国費予算概算要求について説明。  
吉野之雄委員 (社民)、明田辰義委員 (自民) 及び土田 弘委員 (社民) から質疑
- ② 農政部長から、農作物の生育状況等について報告。
- ③ 船橋利実委員 (自民) から質疑及び要望  
(1) O-157による道内農産物への影響について  
(2) 21世紀高生産農業基盤整備対策事業について  
(関連して岡田俊之委員 (社民) から質疑及び要望)

○9月24日 (火) 開議 午前11時16分  
散会 午前11時35分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄 (自民)

### 一 般 議 事

- ① 道内農業事情調査に関する実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況に関する報告。
- ④ 村井宣夫委員 (21'道民) から質疑  
21世紀高生産農業基盤整備特別対策事業について

○10月7日 (月) 開議 午前10時45分  
散会 午前10時52分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄 (自民)

### 付託案件の審査

議案第11号

農地開発事業 (農地再編関連整備) に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第12号  
畑地帯総合土地改良事業（担い手育成畑地帯総合整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第13号  
ほ場整備事業（高生産性大区画ほ場整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第14号  
ほ場整備事業（担い手育成基盤整備（区画整理型））に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第15号  
草地基盤整備事業（公共牧場整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第16号  
ため池等整備事業（利活用保全施設整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第17号  
ため池等整備事業（自然環境保全整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第18号  
中山間地域総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第19号  
中山間地域総合整備事業（ふるさと・水と土保全モデル）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第20号  
農村活性化住環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第21号  
農村総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第22号  
農村自然環境整備事業（総合型）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第23号  
水環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第24号  
広域営農団地農道整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第25号  
広域営農団地農道整備事業（農政離着陸場整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第26号  
一般農道整備事業（集落間農道整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第27号  
農道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第28号  
道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

#### 一 般 議 事

- ① 農業事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 農政部長から平成8年産畑作物価格について説明。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 建 設 委 員 会

○8月6日（火） 開議 午後2時35分  
散会 午後2時51分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一（自民）

#### 請願・陳情の審査

請願第4号  
丘珠空港の一方的な滑走路延長・ジェット化に反対し、自衛隊ヘリコプター基地の撤去を求める件（継続審査）

請願第46号  
丘珠空港滑走路延長計画の白紙撤回を求める件（継続審査）

陳情第3号  
丘珠空港滑走路拡張に反対する件（継続審査）

陳情第5号  
丘珠空港滑走路拡張に反対する件（継続審査）

請願第50号  
精進川河畔林保全に関する件（不採択）

請願第51号  
精進川河畔林保全を求める件（不採択）

請願第54号

精進川河畔林を含む河川敷地の買い戻し・保全を求める件 (不採択)

陳情第18号

精進川段丘崖河畔林買い戻しと保全に関する件 (不採択)

#### 一般議事

- ① 建設事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 土木部長から、石狩湾新港管理組合規約の変更に関する専決処分について説明。

○9月3日(火) 開議 午後1時15分  
散会 午後1時33分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一(自民)

#### 一般議事

- ① 北海道関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、平成9年度北海道開発予算概算要求について説明。
- ③ 建設事情に関する道外調査の実施を決定。

○9月24日(火) 開議 午前10時33分  
散会 午前10時44分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一(自民)

#### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、附属機関の委員の推薦について、北海道住宅対策審議委員に伊達忠一委員長(自民)、高橋定敏委員(自民)、高橋由紀雄委員(社民)、板谷 實委員(21'道民)を、それぞれ推薦することを決定。

○10月7日(月) 開議 午前10時49分  
散会 午前11時9分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一(自民)

#### 付託案件の審査

議案第29号

街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第35号

北海道道の路線の認定に関する件

(原案可決)

議案第45号ないし議案第48号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第65号及び議案第66号

財産の取得に関する件 (原案可決)

報告第3号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

#### 一般議事

- ① 道路特定財源堅持等に関する意見案の発議を決定。
- ② 土木部長から、北海道地方治水事業促進大会について説明。
- ③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ⑤ 土木部長から、第二種普通財産の雑木林について説明。

### 水産林務委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時33分  
散会 午後1時59分  
第5委員会室  
委員長 大島 一郎(社民)

#### 一般議事

- ① 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ② 水産林務事情に関する道内調査実施報告を了承。
- ③ 水産部長から、国連海洋法条約の発効及び漁獲可能量制度について説明。
- ④ 林務部長から道有林基本計画の策定について説明。
- ⑤ 「新しい総合計画」等に関する委員会協議会の開催を決定。

○9月3日(火) 開議 午後1時14分  
散会 午後2時28分  
第5委員会室  
委員長 大島 一郎(社民)

#### 一般議事

- ① 平成9年度水産・林務関係国費予算並びに林

野公共事業の促進に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

- ② 水産部長及び林務部長から、平成9年度水産林務関係国費予算の概算要求について説明。

山口真人委員（自民）から質疑及び意見

- ③ 水産部長から、国営さけ・ますふ化放流事業の見直しについて説明。

山口真人委員（自民）及び鯉谷 忠委員（社民）から意見及び要望

- ④ 水産部長から、根室海峡海域における銃撃事件について報告。

小池 昌委員（社民）から質疑、意見及び要望

○9月24日（火） 開議 午前10時29分

散会 午前10時41分

第5委員会室

委員長 大島 一郎（社民）

#### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産林務事情に関する道外調査の実施を決定。
- ③ 山口真人委員（自民）から要望  
定例会提出予定案件の説明資料について

○10月7日（月） 開議 午前10時58分

散会 午前11時11分

第5委員会室

委員長 大島 一郎（社民）

#### 付託案件の審査

議案第9号

北海道立漁業研修所条例案 （原案可決）

議案第30号

沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 （原案可決）

議案第31号

漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件 （原案可決）

議案第32号

林業事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 （原案可決）

議案第33号

林道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 （原案可決）

#### 一般議事

- ① 水産部長から漁獲量可能量制度について説明。

- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 文教委員会

○8月6日（火） 開議 午前9時48分

散会 午前9時57分

第9委員会室

委員長 野呂 善市（自民）

#### 一般議事

- ① 文教事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

- ② 生涯学習部次長から、学校給食の食中毒防止指導に関するこれまでの対応について報告。

○9月3日（火） 開議 午後1時29分

散会 午後1時50分

第9委員会室

委員長 野呂 善市（自民）

#### 請願・陳情の審査

請願第53号

義務教育諸学校学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件 （議決不要）

#### 一般議事

- ① 平成9年度文教施策に対する中央折衝の実施概要の報告を了承。

- ② 企画管理部長から、平成9年度公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画の概要について説明。

- ③ 生涯学習部長から、学校給食による集団食中毒について報告。

- ④ 生涯学習部長から、学校プールにおける生徒の死亡事故について報告。

○9月19日（木） 開議 午後1時14分

散会 午後2時56分

第9委員会室

委員長 野呂 善市（自民）

#### 一般議事

- ① 教育長、企画管理部長、企画室参事及び学校管理課参事から、平成9年度公立高等学校適正配置計画及び平成9年度公立特殊教育諸学校配

置計画について説明。

水城義幸委員（自民）、蝦名清悦委員（社民）、  
佐藤寿雄委員（自民）、鎌田公浩委員（21'道民）  
及び森 成之委員（公明）から質疑

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

○9月24日（火） 開議 午前10時36分  
散会 午前10時46分  
第9委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 木村 澄男（新道政）

#### 一般議事

- ① 教育長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 文教事情に関する道外調査の実施を決定。

○10月7日（月） 開議 午前11時8分  
散会 午前11時32分  
第9委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 木村 澄男（新道政）

#### 付託案件の審査

議案第49号ないし議案第60号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）  
議案第67号

財産の取得に関する件（原案可決）

#### 一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 小原葉子委員（社民）から質疑  
教育モニターについて

○8月7日（水） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時11分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇（自民）

- ① 地域開発事情に関する道外調査の実施を決定。

○9月4日（水） 開議 午前10時7分  
散会 午前11時25分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇（自民）

- ① 地域開発事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 平成9年度北海道関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 企画振興部長から、平成9年度北海道開発予算概算要求について説明。
- ④ 企画振興部長から、新たな北海道総合開発計画の策定スケジュールについて説明。
- ⑤ 大橋 晃委員（共産）から質疑及びは意見  
ITERについて

○9月24日（火） 開議 午後1時42分  
散会 午後1時50分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇（自民）

- ① 企画振興部長から、平成9年度北海道開発関係予算概算要求について説明。

### 産炭地域振興対策特別委員会

○8月7日（水） 開議 午前10時24分  
散会 午前10時30分  
第10委員会室  
委員長 鈴木 泰行（社民）

- ① 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 産炭地域振興対策に関する道外調査の実施を決定。
- ③ 産炭地域六団体連絡協議会による代表者大会

及び中央折衝の実施概要の報告を了承。

- 9月4日(水) 開議 午前10時46分  
散会 午前10時55分  
第10委員会室  
委員長 鈴木 泰行(社民)
- ① 商工労働観光部長から、産炭地域経済生活圏の指定の解除等について報告。
  - ② 空知支庁管内の石炭及び産炭地域に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

- 9月24日(火) 開議 午後1時52分  
散会 午後2時5分  
第10委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 釣部 勲(自民)
- ① 商工労働観光部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。
  - ② 商工労働観光部長から、釧路産炭地域総合発展機構(仮称)の設立について報告。  
伊東良孝委員(自民)から質疑
  - ③ 産炭地域振興対策に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

### 北方領土対策特別委員会

- 8月7日(水) 開議 午前11時  
散会 午前11時10分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣(自民)
- ① 北方領土復帰促進に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
  - ② 平成9年度北方領土関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
  - ③ 領対本部長から、北方四島交流推進事業の実施について報告。
  - ④ 平成8年度北方四島訪問団の団員推薦を決定。
  - ⑤ 領対本部長から、「第28回北方領土返還要求のつどい」の開催等について説明。
- 9月4日(水) 開議 午前10時20分  
散会 午前10時37分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣(自民)
- ① 平成8年度北方領土相互理解促進対話交流使

節団の団員推薦を決定。

- ② 国際漁業対策室参事から、根室海峡海域における銃撃事件について報告。  
畠山 博委員(自民)から質疑
- ③ 領対本部長から、平成8年度北方領土墓参の実施結果の概要について報告。
- ④ 領対本部長から、北方四島交流推進事業について説明。  
畠山 博委員(自民)から質疑
- ⑤ 領対本部長から、「参議院・沖縄及び北方問題に関する特別委員会」北方領土視察について説明。

- 9月24日(火) 開議 午後2時3分  
散会 午後2時13分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣(自民)
- ① 北方四島交流及び道外視察並びに「北方領土返還要求のつどい」の実施報告を了承。
  - ② 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
  - ③ 領対本部長から、北方四島交流推進事業について報告。
  - ④ 北方領土問題に関する委員会協議会開催を決定。

### エネルギー問題調査特別委員会

- 8月7日(水) 開議 午前10時55分  
散会 午前11時49分  
第10委員会室  
委員長 勝木 省三(自民)
- ① 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
  - ② 商工労働観光部長から、北海道電力泊発電所における火傷事故及び安全協定に関する報告を聴取。
  - ③ エネルギー問題に関する道内及び道外調査の実施概要の報告を了承。
  - ④ 星野高志委員(社民)から質疑  
北海道電力泊発電所3号機増設問題について(関連して小原葉子委員(社民)から質疑)
- 9月4日(水) 開議 午前10時20分  
散会 午前10時28分

第10委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

- ① 商工労働観光部長から、北海道電力泊発電所の定期検査結果について報告。

### 交通安全対策特別委員会

○8月7日（水） 開議 午前10時27分  
散会 午前10時36分  
第2委員会室  
委員長 佐々木 隆博（社民）

- ① 平成9年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。  
② 交通安全対策事情に関する道内外調査の実施を決定。  
③ 警察本部交通部長から、高齢運転者の交通事故防止対策について説明。

○9月4日（水） 開議 午前10時22分  
散会 午前10時29分  
第2委員会室  
委員長 佐々木 隆博（社民）

- ① 生活福祉部長から、秋の全国交通安全運動の取組みについて説明。  
② 札幌圏の交通実情調査の実施を決定。

○9月24日（火） 開議 午後1時52分  
散会 午後1時58分  
第2委員会室  
委員長 佐々木 隆博（社民）

- ① 生活福祉部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。  
② 警察本部交流部長から、平成8年第3回定例会提出予定案件について説明。

### 地方分権・行政改革問題調査特別委員会

○8月7日（水） 開議 午後零時2分  
散会 午後零時23分  
第1委員会室  
委員長 西村 慎一（21'道民）

- ① 本日予定していた委員会協議会を次回に延期することを決定。  
② 地方分権・行政改革問題に関する道内調査実施概要の報告を了承。

- ③ 佐藤英道委員（公明）から質疑  
組織機構改正について

○9月4日（水） 開議 午前11時46分  
散会 午後零時2分  
第1委員会室  
委員長 西村 慎一（21'道民）

- ① 佐藤英道委員（公明）から質疑、意見及び要望  
(1) 市町村への権限委譲の推進について  
(2) 権限委譲への具体的な取組みについて  
(3) 権限委譲に当たっての支援方策について

○9月24日（火） 開議 午後2時53分  
散会 午後3時46分  
第1委員会室  
委員長 西村 慎一（21'道民）

- ① 議席について配付の議席表のとおりとすることを決定。  
② 行政管理室長から「事務事業の総点検結果」及び「道政改革の実施方針」について説明。  
石井孝一委員（自民）、中崎昭一委員（自民）、  
鰐谷 忠委員（社民）及び萩原信宏委員（共産）  
から質疑及び意見

○10月7日（月） 開議 午後零時9分  
散会 午後零時16分  
第10委員会室  
委員長 西村 慎一（21'道民）

- ① 地方分権の推進に関する意見案の発議を決定。  
萩原信宏委員（共産）から意見  
② 意見案に関する中央折衝の実施を決定。

## 予算特別委員会

○10月3日(木) 開議 午後5時57分  
散会 午後6時3分  
第1委員会室  
委員長 伊達 忠一(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に伊達忠一委員(自民)、副委員長に平出陽子委員(社民)を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の委員名簿のとおり選出。

### ○第1分科会委員(15人)

野村 義次(自民)	本間 勲(自民)
山田麟太郎(新道政)	林 大記(社民)
岡本 修(社民)	平出 陽子(社民)
山口 恵聖(社民)	加藤 和久(自民)
高橋 定敏(自民)	和田 敬友(自民)
勝木 省三(自民)	水野 重男(21'道民)
吉田 恵悦(公明)	長沢 徹(社民)
桜井 外治(自民)	

### ○第2分科会委員(15人)

蝦名 清悦(社民)	荒島 仁(公明)
丸岩 公充(自民)	水城 義幸(自民)
前田 康吉(新道政)	滝口 信喜(社民)
萩原 信宏(共産)	段坂 繁美(社民)
板谷 實(21'道民)	清水 誠一(自民)
山口幸太郎(自民)	高橋 一史(自民)
酒井 芳秀(自民)	小池 昌(社民)
舟山 広治(社民)	

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を置くこと、分科委員に辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことに決定。

- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答形式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準ずることに決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派及び諸派についても出席願うことを決定。
- ⑨ 委員外議員の発言の取扱いについて、議員から発言の申出があった場合、その都度、委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の質疑終了後に発言することを決定。

## 第1分科会

○10月3日(木) 開議 午後6時4分  
散会 午後6時10分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
加藤 和久(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に加藤和久委員(自民)、分科副委員長に岡本 修委員(社民)を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席について決定。
- ③ 理事に高橋定敏委員(自民)、長沢 徹委員(社民)、水野重男委員(21'道民)、吉田恵悦委員(公明)、山田麟太郎委員(新道政)を選出。

○10月4日(金) 開議 午前10時38分  
閉会 午後5時46分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
加藤 和久(自民)

- ① 保健環境部所管に対する質疑に入り、水野 重男委員(21'道民)から、北海道環境基本条例案について  
・条例設置に対する見解

- ・環境基本計画の内容
- ・環境の保全や創造に関する総合的施策の考え方
- ・環境の「創造」についての解釈
- ・農山村が持つ環境の保全維持管理、保護育成に対する認識
- ・森林資源の保全と維持管理
- ・動植物の種の保護対策と被害防止対策
- ・条例に基づく政策調整、指導、検証のための推進体制
- ・環境基本計画における北海道の責務、市町村の責務、事業者の責務の取扱い
- ・条例案と基本計画を併せた審議

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長及び環境室長から答弁があつて、公安委員会、企業局、生活福祉部、保健環境部、企画振興部、選挙管理委員会、人事委員会、出納局及び監査委員所管に対する質疑を終結。

## ② 総務部所管に対する質疑に入り、

船橋 利実委員（自民）から、

### 1 道の関与団体等財政援助団体について

- ・定期的な総合見直しを行う理由及び毎年度ごとの見直しとの相違点
- ・定期的な見直しの期間
- ・道政改革の実施方針の中へ関与団体の見直しを盛り込んだ背景及び理由
- ・関与団体の出資金などへの補助金等の額に対する見解
- ・今日まで抜本的な見直しを実施しなかった理由
- ・所管部局の運営指導結果を取りまとめる部局及び所管部局長の判断に対する評価
- ・出資金等の減額・引下げなどに対する所管部局からの報告件数
- ・団体全体の動向を把握する体制づくり及び指導の強化に対する見解
- ・出資団体等のうち国の団体等の数と出資額及び国に対する見直しを求める考え方
- ・関与団体の見直しの具体的な内容
- ・要綱の見直しに対する所見

### 2 道退職者の再就職について

- ・OB職員の取扱要領の策定期間及び策定の必要性並びに同要領策定前再就職者との整合性
- ・道職員等が再就職する際の報酬基準及び改定の経過
- ・給与基準を超えて報酬等を支給している団体

- の実態把握状況及び基準見直しに対する所見
- ・関与団体への道職員の派遣状況及び見直しに対する所見
- ・OB職員の取扱要領の見直し時期及び在職期間に対する見解
- ・特別職への取扱いに対する見解
- ・OBが理事長等の職にある団体におけるその団体の対応に対する考え方及び別要領の策定に対する見解
- ・OB職員の取扱要領に含まれない各種委員会等に対する指導
- ・北海道空港株式会社相談役の処遇についての見解

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、人事課長及び財政課長から答弁があつて、総務部所管に対する質疑を終結。

## 第 2 分 科 会

○10月3日（木） 開議 午後6時5分

散会 午後6時12分

第2委員会室

第2分科委員長

段坂 繁美（社民）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に段坂繁美委員（社民）、分科副委員長に山口幸太郎委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席について決定。
- ③ 理事に清水誠一委員（自民）、小池 昌委員（社民）、板谷 實委員（21'道民）、荒島 仁委員（公明）、前田康吉委員（新道政）を選出。

○10月4日（金） 開議 午前11時11分

散会 午後5時30分

第2委員会室

第2分科委員長

段坂 繁美（社民）

### ① 林務部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

#### 1 森林伐採と林地開発について

- ・長沼町における林地開発行為の概要
- ・カラマツ人工林などの伐採状況

- ・伐採地への植林の指導の状況
- ・林地開発行為と伐採届出制度の関係
- ・林地開発計画に際しての住民説明会の必要性に対する認識
- ・開発許可における住民合意の必要性

## 2 木材利用の促進について

- ・公共施設への木材の利用推進の状況
- ・木材利用推進における問題点
- ・木材利用の新たな開拓分野
- ・北海道間伐材等小径材総合対策協議会の活動の状況
- ・同協議会の名称の変更
- ・木材・木製品の需要拡大への取り組み姿勢

等について質疑、意見及び要望があり、林務部長、治山課参事、林産振興課長及び森林計画課長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

## ② 土木部所管に対する質疑に入り、

大橋 晃委員（共産）から、

士幌高原道路について

- ・トンネル坑口予定地の法面の固化工事
- ・法面工事の必要性
- ・ナキウサギへの影響
- ・法面工事の自然への影響
- ・調査の自然への影響
- ・法面工事の中止の検討

等について、質疑、意見及び要望があり、土木部長及び道路整備課長から答弁があって、土木部及び収用委員会所管に対する質疑を終結。

## ③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

下水道整備に関する課題について

- ・下水道普及に対する基本的認識
- ・市部と郡部の普及率の現状
- ・郡部の普及率の低い原因
- ・今後の郡部の下水道整備
- ・下水道汚泥の現状
- ・今後の下水道汚泥対策
- ・町村の財政負担の軽減と低廉な下水道の促進の取り組み

等について、質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長及び公園下水道課長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

## ④ 農政部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

### 1 中山間対策と補助金適正化法違反について

- ・豊浦地区道営中山間地域総合整備事業の概要
- ・活性化施設の事業計画の概要
- ・「クリエート豊浦」の運営実態
- ・株式会社吉池への譲与契約に際しての支庁長の承認の有無

- ・株式会社吉池の販売事業と事業計画との関係
- ・補助金適正化法違反の有無
- ・活性化施設の運営への道のかかわり
- ・活性化施設の現状に至った理由
- ・中山間地域の活性化に求められる方策
- ・中山間地域の環境整備のための総合的な検討

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農村振興課長及び設計課長から答弁があって、農政部所管に対する質疑を終結。

## ⑤ 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、

荒島 仁委員（公明）から、

職業訓練について

- ・高度技能者の育成に関する基本的見解
- ・道立高等技術専門学院再編整備計画における拠点校の整備状況
- ・二年制科目の整備の基本的考え方
- ・北見・旭川両学院の二年制訓練の実施効果
- ・二年制訓練の就職状況
- ・二年制訓練の今後の導入の考え方
- ・職業能力開発短期大学の整備に向けた検討状況
- ・整備検討委員会における検討事項と課題
- ・短大校の早期設置に向けた今後の取り組み方針と決意

等について

大橋 晃委員（共産）から、

### 1 国際熱核融合炉の立地問題について

- ・苫東環境影響評価書に活断層の記述が全くない理由
- ・苫東内の活断層の状態の把握状況
- ・苫東内の活断層の存在問題に対する認識
- ・I T E R 誘致に際しての活断層の調査方針
- ・活断層問題など道民の不安に対する対応方針
- ・安全問題協議会の審議中に知事が誘致期成会会長に就任したことの整合性に対する見解

### 2 食糧費の執行について

- ・商工労働観光部における7年度の食糧費執行中、不適切であったものの件数及び内容
- ・7年度と8年度の各4月から6月までの食糧費の執行状況の比較

- ・食糧費の大幅減額に伴う支障の有無と今までのやり方への評価
- ・外郭団体との会食が商工労働観光部でとりわけ突出している理由とその目的
- ・関係団体との会食を極力自粛すべきと思うがこの見解

等について質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長、総務課長及び職業能力開発課長から答弁があって、商工労働観光部所管に対する質疑を終結。

⑥ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

原田 裕委員（自民）から、

- 1 不登校問題について
  - ・登校拒否問題の背景と原因
  - ・道教委のこれまでの取り組み
  - ・フリースクールの実情把握
  - ・フリースクールについての認識
- 2 いじめについて
  - ・国の協力者会議の報告に対する見解
  - ・道教委のこれまでの取り組み
  - ・文部省通知への対応
  - ・学校ごとの取り組み
  - ・「いじめ等対策本部」の機能
  - ・「いじめ等対策本部」の市町村レベルでの組織化
  - ・生徒指導研究指定校制度の拡充
- 3 教員の採用について
  - ・採用選考検査の考え方
  - ・最近5年間の志願者数及び採用者の状況
  - ・現在の採用方法の問題点
  - ・採用に当たっての人物重視の考え方
  - ・他府県における民間人の面接員の起用
  - ・来年度の採用試験の改善
- 4 教員の研修について
  - ・教員研修の認識
  - ・民間企業等での長期研修の考え方
  - ・他府県における取り組み状況
  - ・研修派遣先の検討

等について

○10月5日（土） 開議 午前10時35分  
 閉会 午後零時2分  
 第2委員会室  
 第2分科会委員長

段坂 繁美（社民）

① 教育委員会所管に対する質疑を続行し、

本間 勲委員（自民）から、

- 1 公立高校入学者選抜の改善について
  - ・公立高校の入試改善の取り組み方針
  - ・入試改善策の実施時期
  - ・学区再編の考え方
  - ・個人調査書と学力検査の取扱い
  - ・普通科の推薦入学制度の導入の考え方
  - ・特色ある学校・学科づくりの方針
  - ・入試改善策を検討する組織の設置
  - ・高校教育のあり方についての教育長の認識
- 2 第三次教育長期計画について
  - ・教育を取り巻く環境についての見解
  - ・教育局における地方分解の問題
  - ・教育局のあり方
  - ・学校選択の弾力化の問題
  - ・次期計画の目標年次
  - ・次期計画の道教委所管以外の大学、私立学校の取扱い
  - ・過疎地域における高校の規模、学校のあり方
  - ・過疎地域における教員の確保
  - ・過疎地域における放送大学の活用策
  - ・過疎地域における空き教室の有効活用の取り組み
  - ・大学問題への取り組み状況
  - ・大学行政の一元化
  - ・道立大学の設置

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 学校五日制と障害児教育について
  - ・ウィークエンド事業の認識
  - ・モデル市町村の拡大の必要性
  - ・事業の拡充
- 2 訪問教育について
  - ・平成9年度の訪問教育対象者数
  - ・養護学校高等部の進学率
  - ・養護学校高等部の整備
  - ・訪問教育のあり方

等について、質疑、意見及び要望があり、教育長、企画管理部長、生涯学習部長、教職員課長、学校管理課長、学校教育課長、社会教育課長、企画室参事及び学校管理課参事から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

○10月5日（土） 開議 午後1時8分  
 閉会 午後1時17分

## 第1委員会室

委員長 伊達 忠一（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 付託案件に対する意見の調整は、理事会において行うことを決定。
- ③ 理事会における意見調整の結果、意見の一致を見た旨報告の後、議案第1号ないし第5号を一括議題とし、原案のとおり可決することを決定。
- ④ 山口幸太郎委員（自民）から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。萩原信宏委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって本動議のとおり可決することを決定。
- ⑤ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、あいさつがあつて閉会。

## 企業会計決算特別委員会

○6月28日（金） 開議 午後3時8分

散会 午後3時16分

第10委員会室

委員長 小池 昌（社民）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に小池 昌委員（社民）、副委員長に伊達忠一委員（自民）を選出。
- ② 理事に神戸典臣委員（自民）、石井孝一委員（自民）、岡本 修委員（社民）、平出陽子委員（社民）、水野重男委員（21'道民）、佐藤英道委員（公明）及び前田康吉委員（新道政）を選出。

なお、改革については、オブザーバーの扱いとすることを決定。

- ③ 委員会の申し合わせ事項について諮り、異議なく決定。

### ○ 申し合わせ事項

- 1 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。

ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。

- 2 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。

- 3 委員の交代は、原則として認めないこと。

- 4 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。

- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、委員の割り当てのない諸派の議員から、発言の申し出があった場合には、委員会の決定により委員の通告質疑終了後に発言を許可すること。

なお、書面審査及び資料要求は認めないことを決定。

- ⑤ 本委員会の運営方法及び審査日程については、理事会において協議の上、決定することとした。

○7月5日（金） 開議 午後8時1分

散会 午後8時11分

第1委員会室

委員長 小池 昌（社民）

- ① 議席を決定。
- ② 報告第34号ないし第38号を一括議題とし、保健環境部長、林務部長及び公営企業管理者から決算概要について、代表監査委員から決算審査

意見について説明。

- ③ 決算審査のため必要な資料について、配付の項目により要求することを決定。
- ④ 要求資料について、7月22日までに提出することを決定。
- ⑤ 審査日程について決定。
- ⑥ 企業会計決算に係る現地調査の実施を決定。
- ⑦ 決算書面審査会の実施及び審査の方法を決定。
- ⑧ 書面審査会の運営について決定。
  - 1 書面審査室は第10委員会室に設置し、使用時間は、午前10時から午後5時までとする。
  - 2 書面審査の方法は、従前の例により、決算法定書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行う。
  - 3 書面審査室備え付け資料の室外への持出しは禁止する。
- ⑨ 報告第34号ないし第38号の閉会中継続審査の申出を行うことを決定。

○8月20日(火) 開議 午前10時48分  
散会 午後5時13分  
第1委員会室  
委員長 小池 昌(社民)

- ① 綿貫健輔委員(改革)の辞任に伴い、萩原信宏委員(共産)が補充選任された旨報告。
- ② 議席を決定。
- ③ 7月5日の委員会決定に基づく要求資料の提出があったことを報告。
- ④ 企業会計決算に係る現地調査の実施概要の報告を了承。
- ⑤ 代表監査委員から随時監査結果について報告。石井孝一委員(自民)及び萩原信宏委員(共産)から質疑
- ⑥ 公営企業管理者から企業局における旅費不正受給の独自点検結果について報告。
- ⑦ 審査日程の変更を決定。
- ⑧ 報告第35号(平成7年度北海道有林野事業会計決算に関する件)を議題とし、
- ⑨ 林務部所管に対する質疑に入り、船橋 利実委員(自民)から、
  - 1 平成7年度の決算内容について
    - ・決算審査意見書の記載内容
    - ・平成4、5、6年度分の不正受給額の内容
    - ・不正受給の用途
    - ・再発防止策の取組み

- ・道有林野事業会計の空き公宅の処分
  - ・無償貸付けしている林野の有償化への取組み状況
  - ・有償化が進まない理由
- 2 基本計画の実施状況について
    - ・業務の改善状況
    - ・林務署の再編整備状況
  - 3 次期基本計画について
    - ・次期基本計画策定の基本的考え方
    - ・次期計画の策定スケジュール
    - ・機能区分毎の面積
    - ・次期計画の事業量
    - ・経営の改善策
    - ・経営改善のための抜本的な具体策
    - ・計画期間の資金収支
    - ・不足資金に対する対応
    - ・会計方式のあり方
    - ・一般会計からの借入金に対する対応
  - 4 森林整備公社について
    - ・森林整備公社の役割及び出資金
    - ・森林整備公社への業務委託の実情
    - ・委託業務の成果及び次年度の委託費の算定方法
    - ・再委託についての認識
    - ・公社運営とのかかわり
    - ・道監査等の実施状況
    - ・道職員OBが公社の主要ポストを占めている現状に対する認識
    - ・公社の人的構成などの組織機構についての見解
    - ・理事会の運営についての見解
    - ・森林整備公社の将来のあり方
- 等について
- 小野寺 勇委員(自民)から、  
会計方式について
- ・企業会計維持の可否
  - ・9万ヘクタールの生産林を維持経営する理由
  - ・今後の道有林経営にふさわしい会計方式
- 等について、質疑、意見及び要望があり、林務部長、道有林管理室長、林政課長、経営課長及び経理課長から答弁。

○8月21日(水) 開議 午前10時25分  
散会 午後5時42分  
第1委員会室  
委員長 小池 昌(社民)

① 林務部所管に対する質疑を続行し、

佐藤 英道委員（公明）から、

- 1 平成7年度決算に対する認識
- 2 次期基本計画の策定状況
- 3 次期基本計画における公益林増加の理由
- 4 現行計画における公益林機能の向上方策
- 5 次期計画における公益林の整備方策
- 6 特別会計方式について
  - ・会計方式以降のメリット及びデメリット
  - ・森林整備に必要な事業量及び事業資金の確保
  - ・林業関係者への影響
  - ・組織機構の見直し
  - ・特別会計移行後の経営成果などの把握
- 7 道有林野事業の効率的な経営について
- 8 森林・林業の普及啓発について
- 9 道有林経営の取組み等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 公金乱用について
  - ・食糧費の予算、決算の状況及び交際費の執行状況
  - ・食糧費、交際費支出方法の改善方法
  - ・総務庁通達の趣旨の徹底についての取組み
  - ・道有林センターにおけるカラ雇用調査の状況
  - ・平成7年4月から10月における本庁及び出先の旅費の不正受給の調査結果
  - ・道外旅行に係る資料の提出
  - ・再監査への対応
- 2 道東林道について
  - ・道東林道の建設経過及び利用状況
  - ・道東林道の現況についての認識
  - ・維持費以外の経費及び道道移管などの検討状況
  - ・各道有林管理センターへのジープの配置の必要性
  - ・公有林の管理経費への交付税措置の状況
  - ・交付税措置の充実強化

等について、質疑、意見及び要望があり、林務部長、道有林管理室長、経営課長及び経理課長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

② 保健環境部所管に対する質疑に入り、

加藤 礼一委員（自民）から、

- 1 道立病院経営における基本的な姿勢について
  - ・企業会計の経済性を発揮するためにどのような施策を講じられたのか、その効果に対する

認識

2 経営健全化計画について

- ・札幌北野病院の移管についての見通し、寿都病院に対する平成7年度における働きかけ、鬼脇病院の現状と対応等
- ・計画期間中に移管達成が難しい状況に対する責任の所在
- ・平成7年度実績が経営健全化計画の平成8年度目標値と大幅に異なる理由、資本的収支計画においても大幅な差が生じる原因
- ・入院患者数と病床利用率が経営健全化計画の目標を大きく下回る理由と入院患者減少数を診療報酬換算した場合の減少額
- ・入院患者数減少の要因と改善に向けた取組み
- ・外来患者の減少理由
- ・経営努力としての病床利用率向上方策
- ・経営健全化計画と平成7年度との比較についての見解
- ・移管後、松前病院の患者数が増加した要因
- ・移管後、静内病院の経営状況が改善された理由と道立病院の医療スタッフの経営意識向上に対する取組み
- ・監査委員から提出された審査意見で「財務事務の一部において不適正な支出があった」と指摘されているが、その内容
- ・再発防止のための取組みと道立病院における新たな事実の有無
- ・医業費用に占める給与費割合が高い理由
- ・看護婦の配置必要数の根拠と現員との比較
- ・江差・紋別・羽幌・釧路病院の看護婦に対する時間外勤務の支給実績額が高い理由
- ・充足率の低い病院の医師確保の見直し
- ・道立病院としてどのような条件を提示して医師確保しているのか、市町村立の病院の提示する条件の調査の有無
- ・道内の自治体が医師確保のために大学の医局などへ謝礼を払っているという新聞報道に対する受止め方
- ・高度医療機器整備の充足度及びMRI等の配置状況
- ・医療機器のリース方式の活用と他府県の実態
- ・累積欠損金の抜本的な解決策についての見解
- ・雑損益の内訳と消費税が5%の場合の損益収支への影響
- ・将来の道立病院の役割、あり方についての見

解

- ・旭川医大眼科で実践されている光ファイバーを利用したテレミートシステム（遠隔診断医療）事業に対する見解と次期経営健全化計画の基本的方向と策定スケジュール

等について

石井 孝一委員（自民）から、

- 1 道立病院の役割について
  - ・都市部における道立病院の役割
  - ・民間病院に対する道立病院の影響
- 2 道立病院の経営健全化について
  - ・民間病院は赤字が少ないのに、道立病院が大きな欠損金を抱えている理由
- 3 医療従事者の配置について
  - ・民間病院と道立病院との医師、看護婦など基準に対する格差についての認識
- 4 病床利用率の低い病院の対応について
  - ・鬼脇病院は過疎地域とはいえ、病床利用率が16.6%と低いのがこれらの対策
- 5 医療従事者の確保について
  - ・民間医師と道立病院医師の給与格差を少なくするための対策
- 6 職員配置について
  - ・検査技師の配置と業務内容
  - ・栄養士の配置数について見直しをすべきと考えるが、これに対する見解
  - ・事務職員とその他職員の配置について、病院間でアンバランスがあると思うが、再配置についての見解
  - ・その他職員の給食関係職員の割合
- 7 医師等の住宅について
  - ・医師、看護婦の住宅環境の状況
- 8 医薬分業について
  - ・院外処方箋の現況と今後の動向

等について

水野 重男委員（21'道民）から、

- 1 不適正な支出について
  - ・平成8年2月14日に返還されたお金の財源と返還先
  - ・平成4年度から6年度までの総金額
  - ・返還されたお金の受入れ科目
  - ・病院ごとの不正経理額の公表の可能性の有無
  - ・内部審査制度強化に対する見解
- 2 病床利用率について
  - ・監査意見の中の病床利用率64.1%と企業会計

決算特別委員会提出資料の66.6%の数字が異なる理由

- ・都市型道立病院の存置意義と経営健全化方策についての見解

### 3 職員の配置数について

- ・職種別職員の配置数、標準数に対する考え方
- ・医師数、看護婦数等が病院により大きく差が出る理由

### 4 経営健全化について

- ・今取り組んでいる改善計画のポイント
- 等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、道立病院管理室長及び道立病院管理室参事から答弁。

○8月22日（木） 開議 午前10時7分

散会 午後6時26分

第1委員会室

委員長 小池 昌（社民）

### ① 保健環境部所管に対する質疑を続行し、 佐藤 英道委員（公明）から、

#### 1 未収金について

- ・病院における未収金の内容
- ・過年度未収金の実態と督促状況
- ・不納欠損の状況
- ・出張徴収や電話催告についての状況把握

#### 2 固定資産の管理について

- ・高額な高度医療機器の更新が適切か、耐用年数経過前に機器更新する場合の理由
- ・新規購入医療機器の稼働率と稼働率の悪い機器の状況
- ・近隣病院とネットワークによる高度医療機器の活用についての考え方

#### 3 研究・研修費について

- ・道立病院における研究・研修の具体的成果
- ・医師・看護婦等が学会・研修会に参加した後研修成果が伝達されているかの有無
- ・多額の累積欠損金を抱えている実態を踏まえ、経営改善に関する職場研修の実施状況

#### 4 病床利用率及び収益単価について

- ・医師確保を含め病床利用率向上のための対策
- ・自治医科大学の卒業生医師の活用状況
- ・病院ごとの患者一人当たりの収益単価に格差がある理由

#### 5 医療技術者の確保について

- ・理学療法士、作業療法士、臨床工学技士の確保状況

- 6 業務の委託について
  - ・業務別にどのように進めてきたのか
  - ・今後の業務委託化に対する見解
- 7 病院事業経営健全化に関する今後の取組みについて
  - ・現方策の計画期間終了後の病院運営の考え方
  - ・療養型の病院としての機能の可能性
  - ・道立病院としてモデル的に訪問看護ステーションに取り組む考えの有無
  - ・新しい計画の策定に当たり経営コンサルタントなどを活用する考えの有無

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 健全化計画について
  - ・進捗状況並びにその評価
- 2 地域センター病院について
  - ・広域医療を担う羽幌、江差、紋別病院の整備状況
  - ・羽幌病院の医療機器の整備状況、医師の充足状況、地域医療支援活動、地域医療自給状況
  - ・羽幌病院の総合病院化についての検討
  - ・地域センター病院の定義と羽幌病院の地域センター病院としての位置付け
- 3 許可病床、運用病床、病床利用率、そして地域医療計画について
  - ・羽幌病院の許可病床、運用病床、病床利用率の年次推移
  - ・運用病床に対する見解
  - ・低い病床利用率に対する見解
  - ・許可病床の活用方策
- 4 寿都病院の移管について
  - ・赤字解消、健全化計画に向けての方策
  - ・診療所化への考え
  - ・病院移管後、町が診療所化を行うことの容認の是非
  - ・膨大な赤字を生む病院経営を財政力の乏しい町に押しつけることに対する見解
  - ・地域での高齢者保健福祉計画の実現について道立病院を中心にモデル事業を推進していく考えの有無
- 5 企業債償還と金利の改定について
  - ・平成7年度の道立病院での償還元金と償還利息
  - ・借入先は大蔵省と民間金融機関の北海道拓殖銀行と北海道銀行であるがそれぞれの利率別

内訳

- ・利率7.5%以上の未償還額の借換えについての考え

・借換えについて民間金融機関との相談の有無

## 6 健全化計画について

- ・道立病院の職員の意見を聞き、それを反映するような取組の有無

等について質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、道立病院管理室長及び道立病院管理室参事から答弁があつて、保健環境部所管に対する質疑を終結。

## ② 企業局所管に対する質疑に入り、

川尻 秀之委員（自民）から、

### 1 公営企業について

- ・公営企業全般に対する認識
- ・企業局所管の三事業に対する認識
- ・直近3年間の職員定数、機構及び定数管理の考え方

### 2 電気事業会計について

- ・公営電気事業を取り巻く環境に対する認識
- ・電気事業法の改正に伴う影響
- ・総括原価の算定方法、北電への売電価格及び価格の妥当性
- ・事業報酬の内容と充実方策
- ・既設発電所の民間委譲の考え方

### 3 工業用水道事業会計について

- ・工業用水道事業を取り巻く環境に対する認識
- ・各施設の平成7年度における経営状況、給水料金並びに過去3年間における契約水量の推移と未契約水量の現状
- ・経常費用の増加に対する見解、ユーザーに対する要請活動内容及び未売水の解消策と需要の見通し

- ・企業債償還金の増加に対する考え方

- ・苫小牧東部開発新計画策定に伴う給水計画

### 4 工業団地開発事業会計について

- ・苫小牧東部工業団地及び住宅団地事業の総括並びに住宅団地の今後の見通し

### 5 北海道公営企業振興協会について

- ・財団の事業内容に対する認識
- ・財団の役員構成に関する見解
- ・財団の運営方式に関する見解

### 6 企業局の不正経理問題について

- ・知事からの調査要請の対応実態
- ・局内で不正経理がないものと判断した理由
- ・局の自主調査と監査との関連及び会議費も対

象としたかの確認

- ・不正経理なしと意思決定した際の事実関係の詳細

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局次長、発電課長及び工業用水道課長から答弁。

関連して、小野寺 勇委員（自民）から、議事進行の発言があり、答弁準備に時間を要するため保留し、散会。

○ 8月23日（金） 開議 午前11時45分

閉会 午後7時30分

第1委員会室

委員長 小池 昌（社民）

① 企業局所管に対する質疑を続行。前段に公営企業管理者から前日の委員会で保留された事項について答弁があつて、

川尻 秀之委員（自民）から、

企業局の不正経理問題について

- ・不正経理が存在することの認識の有無
- ・不正経理で裏金をつくった理由と始期
- ・裏金をつくる仕組みと管理方法
- ・不正経理による受給額の支出内訳
- ・予算で執行せず、不正経理で処理した理由
- ・調査対象外とした年度又は範囲の今後の対応

等について

沢岡 信広委員（社民）から、

企業局における不正問題について

- ・不正経理の実態を報告しなかったことの認識
- ・監査委員の指摘に対する改善措置及び旅費以外の費目における不正経理の有無
- ・用務と旅行内容の点検の実態
- ・出先機関における前渡資金経理の実態
- ・平成8年度における予算措置の方法
- ・局内の不正経理問題の認識と改善に向けた取り組み状況
- ・管理者の問題認識と今後の対処方針
- ・局長欠員問題に対する見解
- ・信頼回復に向けた決意と見解

等について

石井 孝一委員（自民）から、

企業局に係る予算執行について

- ・不正経理の要因と背景、不正なしと判断した責任者、ユーザーに気を使わなければならない理由並びに報告が支障ありとした理由
- ・局内の職員の動揺状況

- ・不正経理問題が隠されてきた理由
- ・不正に関与した職員の処分問題に対する見解
- ・地方公務員法の「信用失墜行為の禁止」及び「職務上の命令に従う義務」に関する認識
- ・知事から調査を要請された際の対応状況
- ・不正経理による返還対象金額
- ・昨年8月以降10月までの不正経理の有無
- ・不正経理額の返還方式
- ・道民の信頼回復と再発防止策に関する見解

等について

佐藤 英道委員（公明）から、

1 平成7年度企業会計決算について

- ・平成7年度決算に対する認識
- ・不正経理による裏金の使途
- ・不正経理の再発防止に向けた取り組み

2 石狩湾新港地域工業用水道事業について

- ・新港地域における地盤沈下と地下水の塩水化の具体的な懸念と現状
- ・監視体制と企業に対する指導の取り組み状況
- ・地下水使用と工水使用との関連
- ・工水事業の将来性に対する見解

等について

前田 康吉委員（新道政）から、

企業局における不正経理問題について

- ・局の体質に関する見解と改善策
- ・知事部局との人事交流の効果についての評価
- ・民間企業の経営倫理を導入する考えの有無

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

1 企業局の平成7年度決算について

- ・平成7年度の交際費の予算・決算執行状況
- ・会場借上費によるカラ会議の有無
- ・平成7年度の会議費の予算・決算執行状況
- ・前年度比で大幅減となった理由と影響の有無
- ・監査委員の指摘・指導事項と今後の改善方策
- ・会議費による二次的会合の執行状況と必要性
- ・請求書の書換えの実態と見解
- ・東京事務所における会議費の執行中、基準額を超えるものの実態
- ・会議費の執行で、実施証明者が非参加であったものの実態
- ・一連の執行が局財務規定に違反するかどうかの見解
- ・昨年度の道公営企業振興協会との会食の実態
- ・官官接待の必要性に対する見解

## 2 旅費等の不正経理問題について

- ・不正経理の報告件数中の自主申告分の内訳
- ・特別監査後の自主調査の実施状況と公表する考えの有無
- ・徹底した再調査を行う考えの有無
- ・昨年度における東京出張6件の個別用務内容
- ・第三種臨時職員の任用状況と妻名義の雇用の有無

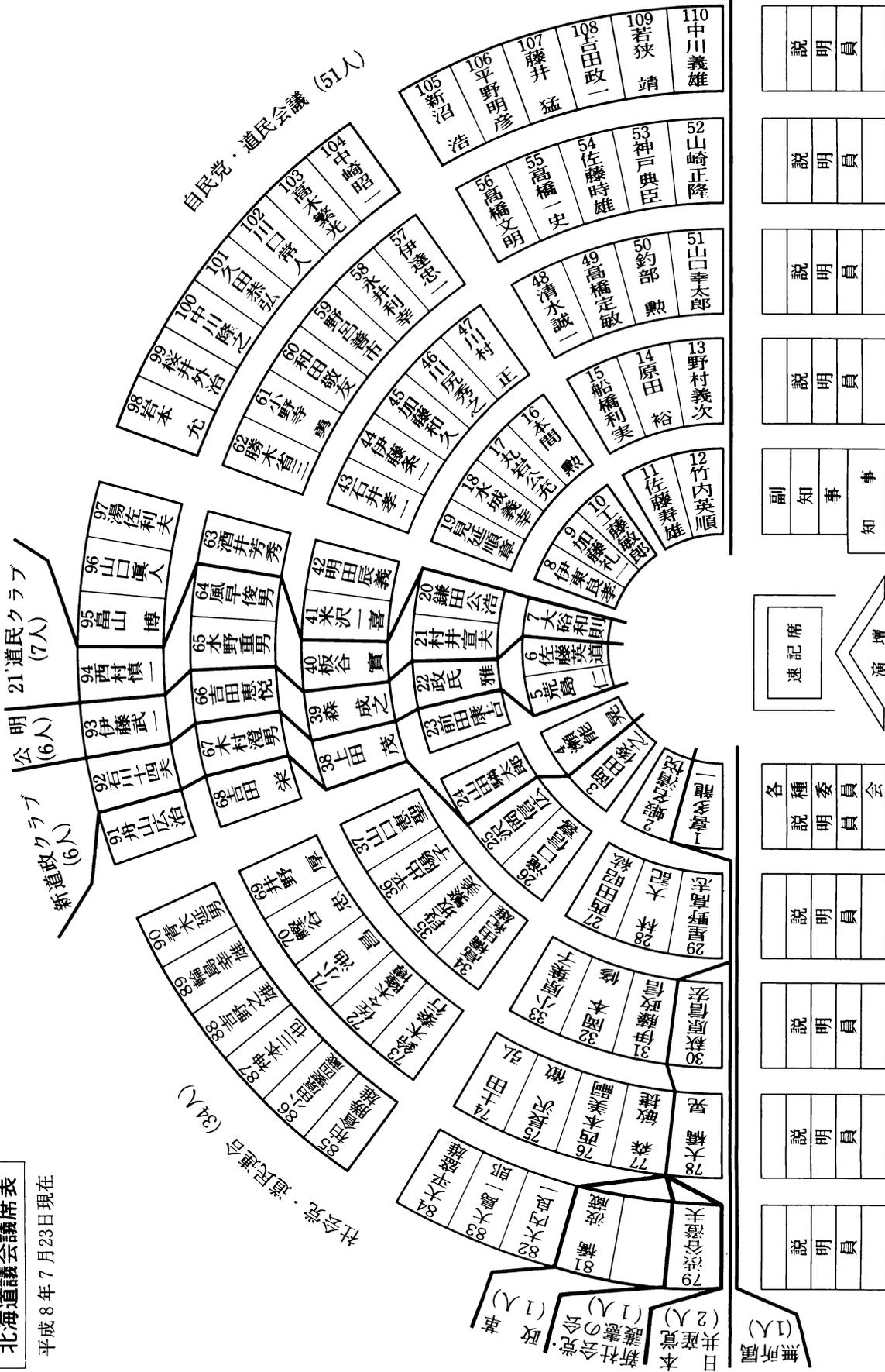
等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局次長、総務課長及び工業用水道課長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

- ② 報告第34号ないし第38号を議題とし、理事会において、付託案件に対する意見調整の結果、報告第34号、第35号及び第38号については意見不一致。また、報告第36号及び第37号については、各派、不認定であった旨報告。
- ③ 萩原信宏委員（共産）から、報告第34号ないし第38号に関する反対討論があって、討論終結。直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、報告第34号及び第35号については意見を付して認定議決、報告第38号については、認定議決とすることを決定。  
次に 報告第36号及び第37号を議題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立なしをもって認定しないことを決定。
- ④ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することに決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件に対する審議終了のあいさつがあって閉会。

# 資料

## 北海道議会議席表

平成8年7月23日現在



## 第41回衆議院議員選挙結果（平成8年10月20日執行）

### 1. 全国党派別当選者調

#### ①小選挙区

党派別	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)
	新	前	元	計			
自由民主党	32	126	11	169	288	21,836,096	38.63
新進党	20	70	6	96	235	15,812,325	27.97
民主党	4	10	3	17	143	6,001,666	10.62
日本共産党		2		2	299	7,096,765	12.55
社会民主党		4		4	43	1,240,649	2.19
新党さきがけ		2		2	13	727,644	1.29
民主改革連合		1		1	2	149,357	0.26
自由連合					88	672,328	1.19
新社会党					37	376,336	0.67
諸 派					28	106,443	0.19
無 所 属	4	4	1	9	85	2,508,810	4.44
合 計	60	219	21	300	1,261	56,528,421	100.00

※得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

#### ②比例代表

党派別	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)
	新	前	元	計			
自由民主党	17	50	3	70	327(260)	18,205,955	32.76
新進党	16	41	3	60	133(7)	15,580,053	28.04
民主党	13	20	2	35	159(141)	8,949,190	16.10
日本共産党	5	12	7	24	53(31)	7,268,743	13.08
社会民主党	4	7		11	48(43)	3,547,240	6.38
新党さきがけ					11(9)	582,093	1.05
民主改革連合					1(1)	18,844	0.03
自由連合					50(50)	453,606	0.82
新社会党					26(24)	963,471	1.73
合 計	55	130	15	200	808(566)	55,569,195	100.00

※立候補者欄の（ ）の数字は、小選挙区との重複立候補者であり内数である。

## 2. 道内党派別当選者調

### ①小選挙区

党派別	当 選 者				立候補者				得 票 数	得票率 (%)
	新	前	元	計	新	前	元	計		
自由民主党	1	5		6	3	10		13	939,448	35.49
新 進 党		2		2	3	2	1	6	375,567	14.19
民 主 党		4	1	5	3	7	1	11	866,407	32.73
日本共産党					12		1	13	373,081	14.10
自由連合					2			2	27,585	1.04
新社会党					1			1	9,010	0.34
諸 派					1			1	6,653	0.25
無 所 属					2			2	49,001	1.85
合 計	1	11	1	13	27	19	3	49	2,646,752	100.00

### ②比例代表

党派別	当 選 者				立候補者				得 票 数	得票率 (%)
	新	前	元	計	新	前	元	計		
自由民主党	1(1)	2(2)		3(3)	5(3)	10(10)		15(13)	740,677	28.20
新 進 党	2			2	4			4	552,847	21.05
民 主 党		2	1	3	4(3)	9(7)	2(1)	15(11)	835,072	31.80
日本共産党			1(1)	1(1)	2(1)		1(1)	3(2)	396,923	15.11
新社会党					1			1	100,807	3.84
合 計	3(1)	4(2)	2(1)	9(4)	16(7)	19(17)	3(2)	38(26)	2,626,326	100.00

※当選者、立候補者欄の（ ）の数字は、小選挙区との重複当選者数、立候補者数であり内数である。

3. 都道府県別党派別当選者数調

①小選挙区

区分	小選挙区数	自民	新進	民主	社会民主	共産	さきがけ	民主改革	自由連合	新社会党	諸派	無所属
北海道	13	6	2	5								
青森	4	3	1									
岩手	4	1	3									
宮城	6	4	1	1								
秋田	3	2	1									
山形	4	2	1									1
福島	5	3	2									
茨城	7	6										1
栃木	5	4										1
群馬	5	4	1									
埼玉	14	6	7									1
千葉	12	9	2	1								
東京都	25	14	6	4								1
神奈川県	17	9	7	1								
新潟	6	6										
富山	3	3										
石川	3	2	1									
福井	3	1	1	1								
山梨	3	3										
長野	5	2	3									
岐阜	5	5										
静岡	9	4	3	1								1
愛知	15	4	10	1								
三重	5	2	3									
滋賀	3		1				1					1
京都	6	4	1			1						
大阪	19	3	15									1
兵庫	12	3	7		1			1				
奈良	4	2	2									
和歌山	3	1	2									
鳥取	2	1										1
島根	3	3										
岡山	5	5										
広島	7	6	1									
山口	4	4										
徳島	3	1	1	1								
香川	3	3										
愛媛	4	4										
高知	3	2				1						
福岡	11	7	3	1								
佐賀	3	2	1									
長崎	4	3	1									
熊本	5	1	3				1					
大分	4	1	1		2							
宮崎	3	3										
鹿児島	5	5										
沖縄	3		2		1							
計	300	169	96	17	4	2	2	1				9

②比例代表

区分	定員	自民	新進	民主	社会民主	共産	さきがけ	民主改革	自由連合	新社会党
北海道	9	3(3)	2	3		1(1)				
東北	16	6(3)	6	2(1)	1(1)	1				
北関東	21	8(1)	6	4(4)	1(1)	2(1)				
南関東	23	7(3)	7	5(2)	1(1)	3(2)				
東京	19	5(3)	5	5(3)	1(1)	3(1)				
北陸信越	13	5	4(1)	2(2)	1(1)	1(1)				
東海	23	8(4)	8	3(3)	1(1)	3(2)				
近畿	33	10(10)	10	5(5)	2	6(6)				
中国	13	6(1)	3(1)	2(2)	1(1)	1				
四国	7	3	2	1(1)		1(1)				
九州	23	9(3)	7	3(2)	2(2)	2(1)				
計	200	70(31)	60(2)	35(25)	11(9)	24(16)				

※当選者欄の（ ）の数字は、小選挙区との重複のうえの当選者数であり内数である。

# 道内候補者別得票数

## 北海道第1区

市区町村名	1	2	3	4
	よこみち 孝弘 (民主党)	小村 貞三 (日本共産党)	ますぎ 栄一 (自由民主党)	長谷川 岳 (本人・推薦)
札幌市中央区	31,335	9,778	19,034	10,868
札幌市南区	31,356	9,542	18,876	9,924
札幌市西区	39,886	13,383	18,355	11,227
北海道第1区計	102,577	32,703	56,265	32,019

## 北海道第2区

市区町村名	1	2	3	4	5
	長内 順一 (新進党)	山根 ゆきつぐ (日本共産党)	よしかわ 貴盛 (自由民主党)	松本 けんこう (自由連合)	さわだ 健一 (本人・推薦)
札幌市北区	37,271	25,056	30,585	12,670	3,359
札幌市東区	36,426	23,217	32,939	7,339	3,294
北海道第2区計	73,697	48,273	63,524	20,009	6,653

## 北海道第3区

市区町村名	1	2	3	4	5
	荒井 さとし (民主党)	うちもと 智香 (新社会党)	三井 わきお (新進党)	石崎 岳 (自由民主党)	児玉 健次 (日本共産党)
札幌市白石区	17,874	3,266	20,319	19,427	17,766
札幌市豊平区	33,605	5,744	30,583	34,848	22,857
北海道第3区計	51,479	9,010	50,902	54,275	40,623

## 北海道第4区

市区町村名	1	2	3	4
	いけだ 隆一 (民主党)	佐藤 静雄 (自由民主党)	鈴木 康司 (新進党)	やまと 時也 (日本共産党)
札幌市手稲区	18,539	14,187	14,132	8,941
小樽市	18,976	18,569	25,066	11,726
市区計	37,515	32,756	39,198	20,667
鳥牧村	240	715	253	132
寿都町	545	914	551	355
黒松内町	717	831	225	422
蘭越町	1,026	1,701	522	224
ニセコ町	558	1,528	346	164
真狩村	437	808	329	75
留寿都村	287	500	130	84
喜茂別町	624	805	327	106
京極町	505	1,168	306	76
俱知安町	1,893	4,288	1,507	616
共和町	1,100	1,615	836	208
岩内町	1,748	2,848	2,693	765
泊村	276	562	262	140
神恵内村	305	400	138	48
積丹町	363	906	516	133
古平町	344	1,106	558	238
仁木町	587	1,168	416	294
余市町	2,456	3,472	4,022	1,725
赤井川村	188	280	197	90
後志支庁計	14,199	25,615	14,134	5,895
北海道第4区計	51,714	58,371	53,332	26,562

## 北海道第5区

市区町村名	1	2	3	4
	町村 信孝 (自由民主党)	池中 まりえ (自由連合)	小野ケンタロー (新進党)	宮内 さとし (日本共産党)
札幌市厚別区	22,502	2,263	14,975	13,335
江別市	25,080	1,608	12,062	10,951
千歳市	20,201	1,033	11,422	4,063
恵庭市	15,838	644	8,799	3,857
北広島市	11,172	952	6,163	5,201
石狩市	10,217	710	5,713	4,856
市区計	105,010	7,210	59,134	42,263
当別町	4,869	247	1,853	1,866
新篠津村	1,662	32	198	252
厚田村	898	50	418	185
浜益村	843	37	243	319
石狩支庁計	8,272	366	2,712	2,622
北海道第5区計	113,282	7,576	61,846	44,885

北海道第6区

市区町村名	1	2	3	4
	佐々木 栄一 (本人・推薦)	おぎう 和敏 (日本共産党)	今津 ひろし (自由民主党)	佐々木ひでのり (民主党)
旭川市	16,982.380	16,992	46,609	76,572.619
北海道第6区計	16,982.380	16,992	46,609	76,572.619

北海道第7区

市区町村名	1	2	3	4
	さくらば 康喜 (民主党)	金田 えいこう (自由民主党)	ましこ 昌正 (日本共産党)	上草 義輝 (新進党)
留萌市	3,893	4,444	754	6,510
稚内市	5,657	7,763	1,978	6,931
士別市	4,926	4,243	707	2,807
名寄市	9,619	4,258	712	2,483
富良野市	4,621	4,063	984	2,907
市 計	28,716	24,771	5,135	21,638
鷹栖町	1,240	1,407	241	795
東神楽町	1,351	950	259	976
当麻町	1,001	1,612	203	1,669
比布町	797	1,050	262	564
愛別町	537	1,281	103	663
上川町	1,466	1,068	215	659
東川町	1,088	1,268	286	814
美瑛町	1,399	3,849	453	1,244
上富良野町	1,618	2,852	349	1,881
中富良野町	1,028	1,397	156	704
南富良野町	715	489	106	401
占冠村	415	352	40	140
和寒町	979	1,248	153	858
剣淵町	1,080	696	224	383
朝日町	614	577	58	283
風連町	2,031	1,066	87	398
下川町	1,489	890	91	590
美深町	2,046	1,246	144	623
音威子府村	463	206	39	96
中川町	793	642	47	187
上川支庁計	22,150	24,146	3,516	13,928
増毛町	998	1,389	231	1,391
小平町	485	896	87	1,741
苫前町	759	1,185	95	897
羽幌町	1,257	2,372	187	2,363
初山別村	274	615	39	384
遠別町	470	1,086	71	924
天塩町	800	1,145	127	917
幌延町	457	680	129	640
留萌支庁計	5,500	9,368	966	9,257
猿払村	471	595	130	698
浜頓別町	1,024	772	214	811
中頓別町	573	673	139	353
枝幸町	1,165	1,467	293	1,312
歌登町	579	413	93	731
豊富町	1,149	875	284	831
礼文町	554	897	143	955
利尻町	313	902	122	814
利尻富士町	355	1,076	114	972
宗谷支庁計	6,183	7,670	1,532	7,477
町 村 計	33,833	41,184	6,014	30,662
北海道第7区計	62,549	65,955	11,149	52,300

北海道第8区

市区町村名	1	2	3		
	はちろ吉雄 (民主党)	高橋佳大 (日本共産党)	佐藤孝行 (自由民主党)		
函館市	61,563	16,586	41,851		
市計	61,563	16,586	41,851		
松前町	2,010	332	3,144		
福島町	933	332	1,944		
知内町	1,118	177	1,585		
木古内町	1,558	310	1,697		
上磯町	6,761	1,797	5,647		
大野町	2,290	469	2,116		
七飯町	6,547	1,608	4,689		
戸井町	666	159	1,305		
恵山町	754	142	1,673		
綴法華村	326	40	446		
南芽部町	1,079	167	2,575		
鹿部町	681	98	1,523		
砂原町	639	146	1,483		
森町	2,765	651	3,415		
八雲町	4,336	879	3,281		
長万部町	2,230	417	1,787		
渡島支庁計	34,693	7,724	38,310		
江差町	2,854	787	1,887		
上ノ国町	1,537	192	1,997		
厚沢部町	1,562	245	1,387		
乙部町	935	412	1,516		
熊石町	908	142	1,077		
大成町	546	245	1,059		
奥尻町	758	156	1,320		
瀬棚町	568	90	1,146		
北檜山町	1,385	261	2,140		
今金町	2,996	218	1,010		
檜山支庁計	14,049	2,748	14,539		
町村計	48,742	10,472	52,849		
北海道第8区計	110,305	27,058	94,700		

北海道第9区

市区町村名	1	2	3		
	紙智子 (日本共産党)	はとやま由紀夫 (民主党)	高橋辰夫 (自由民主党)		
室蘭市	10,327	35,576	5,769		
苫小牧市	17,271	33,566	21,237		
登別市	4,872	15,203	4,924		
伊達市	2,664	9,330	5,160		
市計	35,134	93,675	37,090		
豊浦町	379	1,391	1,306		
虻田町	787	2,618	1,487		
洞爺村	120	579	525		
大滝村	132	492	334		
壮瞥町	198	936	639		
白老町	2,027	4,669	4,723		
早来町	372	1,233	1,570		
追分町	446	1,279	500		
厚真町	518	1,454	1,437		
鶴川町	847	1,960	1,421		
穂別町	367	1,191	810		
胆振支庁計	6,193	17,802	14,752		
日高町	247	657	482		
平取町	670	1,541	1,543		
門別町	1,148	2,901	2,618		
新冠町	513	1,460	1,261		
静内町	1,960	5,461	3,823		
三石町	498	1,070	1,508		
浦河町	1,686	4,233	2,597		
様似町	523	1,683	1,496		
えりも町	624	1,453	1,623		
日高支庁計	7,869	20,459	16,951		
町村計	14,062	38,261	31,703		
北海道第9区計	49,196	131,936	68,793		

北海道第10区

市区町村名	1	2	3		
	ふじさき 勲 (日本共産党)	渡 辺 省 一 (自由民主党)	小 平 忠 正 (民 主 党)		
夕張市	1,597	2,723	4,640		
岩見沢市	6,233	12,699	20,526		
美唄市	1,770	8,714	6,633		
芦別市	1,756	3,801	5,428		
赤平市	2,230	2,763	3,200		
三笠市	1,206	2,772	3,898		
滝川市	3,097	7,405	10,190		
砂川市	1,911	3,642	4,997		
歌志内市	806	1,349	1,449		
深川市	1,786	4,820	7,690		
市 計	22,392	50,688	68,651		
北村	155	741	1,468		
栗沢町	348	1,477	2,891		
南幌町	580	1,397	2,114		
奈井江町	645	1,519	2,118		
上砂川町	846	934	1,570		
由仁町	292	1,531	2,282		
長沼町	737	2,979	2,752		
栗山町	905	2,737	4,481		
月形町	175	1,029	1,497		
浦臼町	133	634	856		
新十津川町	421	1,759	2,532		
妹背牛町	201	1,328	1,209		
秩父別町	155	831	1,137		
雨竜町	154	923	1,172		
北竜町	83	661	1,163		
沼田町	303	846	1,786		
幌加内町	84	627	810		
空知支庁計	6,217	21,953	31,838		
北海道第10区計	28,609	72,641	100,489		

北海道第11区

市区町村名	1	2	3		
	中 川 昭 一 (自由民主党)	池 本 柳 次 (民 主 党)	さとう 糸 江 (日本共産党)		
帯広市	42,332	28,650	8,024		
市 計	42,332	28,650	8,024		
音更町	10,474	7,048	2,047		
士幌町	2,043	1,808	406		
上士幌町	1,602	1,521	323		
鹿追町	2,132	1,188	203		
新得町	2,334	1,962	320		
清水町	3,763	1,987	490		
芽室町	4,809	3,042	933		
中札内村	1,068	1,122	190		
更別村	1,216	673	133		
忠類村	593	322	240		
大樹町	2,535	1,180	334		
広尾町	3,462	1,130	523		
幕別町	5,928	4,571	1,587		
池田町	2,525	2,313	388		
豊頃町	1,606	1,006	166		
本別町	2,851	2,428	339		
足寄町	2,670	2,439	294		
陸別町	978	1,167	133		
浦幌町	2,507	1,693	246		
十勝支庁計	55,096	38,600	9,295		
北海道第11区計	97,428	67,250	17,319		

北海道第12区

市区町村名	1	2	3		
	永井てつお (民主党)	村口てるみ (日本共産党)	たけべつとむ (自由民主党)		
北見市	23,401	5,262	24,548		
網走市	8,265	2,177	9,875		
紋別市	4,327	1,413	7,719		
市 計	35,993	8,852	42,142		
東藻琴村	584	234	896		
女満別町	1,130	216	2,044		
美幌町	4,559	793	7,158		
津別町	1,902	387	1,881		
斜里町	2,778	492	4,725		
清里町	1,418	103	1,785		
小清水町	1,227	285	1,952		
端野町	1,031	176	1,785		
訓子府町	1,434	386	1,760		
置戸町	1,122	167	1,488		
留辺蘂町	2,782	406	2,575		
佐呂間町	1,534	273	2,364		
常呂町	1,053	204	1,659		
生田原町	690	135	1,100		
遠軽町	3,780	569	5,469		
丸瀬布町	736	102	805		
白滝村	425	18	579		
上湧別町	1,445	286	2,122		
湧別町	970	119	2,302		
滝上町	1,237	128	1,345		
興部町	1,063	202	1,680		
西興部村	250	47	598		
雄武町	828	396	1,900		
網走支庁計	33,978	6,124	49,972		
北海道第12区計	69,971	14,976	92,114		

北海道第13区

市区町村名	1	2	3	4	
	岡田篤 (民主党)	北村なおと (新進党)	石川明美 (日本共産党)	鈴木宗男 (自由民主党)	
釧路市	24,164	47,061	8,587	21,016	
根室市	2,839	5,349	1,444	7,562	
市 計	27,003	52,410	10,031	28,578	
釧路町	2,002	5,010	885	2,939	
厚岸町	994	2,366	432	3,583	
浜中町	725	1,929	231	1,802	
標茶町	1,510	2,548	421	1,307	
弟子屈町	1,167	2,358	260	1,700	
阿寒町	672	2,043	200	1,078	
鶴居村	129	1,472	70	71	
白糠町	1,409	3,128	512	1,774	
音別町	269	1,143	147	510	
釧路支庁計	8,877	21,997	3,158	14,764	
別海町	1,501	3,031	672	4,455	
中標津町	2,516	3,977	559	4,035	
標津町	883	1,139	189	1,651	
羅臼町	785	936	127	2,008	
根室支庁計	5,685	9,083	1,547	12,149	
町 村 計	14,562	31,080	4,705	26,913	
北海道第13区計	41,565	83,490	14,736	55,491	

## 8月のメモ

- 1日 ○オランダ航空が新千歳空港経由の定期便検討 KLMオランダ航空が、名古屋から新千歳空港を経由してオランダを結ぶ欧州直行の定期路線開設を検討していることが明らかになった。構想によると、当面は週1便だが将来は週3便前後に増便、旅客と貨物のコンビ型で、8月中にも最終方針を決める見通し。
- 4日 ○住民投票で原発にノー 原発建設の賛否を問う全国初の住民投票が新潟県巻町で行われ、反対票が投票総数の6割を超えた。投票率は88.29%。笹口孝明町長は、建設予定地内に残る町有地について「売却しない」と明言し、電源開発基本計画に組み込まれた巻原発計画は凍結が確実。国の原子力計画に大きな打撃となった。
- 11日 ○宮城県栗駒で震度5 未明に宮城県北部を中心とする東北地方で強い地震が頻発、宮城県栗駒町で震度5（強震）を3回記録した。宮城、山形両県内で10人が重軽傷。13日までに有感地震は80回を超え、仙台管区気象台は「回数は減っているが、1週間は注意が必要」と呼び掛けた。
- 12日 ○道産牛乳を香港へ本格輸入へ ホクレンの貿易子会社、ホクレン通商（本社・札幌）は、高温殺菌したL1牛乳の香港向け輸出を近く本格的に開始することを明らかにした。道産牛乳の香港への輸出は初めて。
- 19日 ○堀知事がITER誘致期成会長就任へ 国際熱核融合実験炉（ITER）の苫小牧東部への誘致問題で、堀達也知事は道経連などが結成した「道ITER誘致期成会」の会長に就任する意向を固めた。22日、連合北海道に対して意向を公式に表明した。
- 誘拐の日本人社長を無事保護 メキシコ・ティファナで誘拐されていた三洋電機の現地法人サンヨー・ビデオ・コンポーネンツの金野衛社長が9日ぶりに解放された。メキシコ検察当局によると、サンヨー側は犯人の要求どおり約2億円の身代金を支払った。
- 20日 ○苫東厚真3号機の運転開始が延期 北電は、高効率・低公害の加圧流動床複合炉（PFBC）として国内初の商業運転を目指していた苫東厚真発電所3号機（胆振管内厚真町、出力8万5千キロワット）の運転開始を、当初予定の10月から1998年3月へ延期すると発表した。
- 22日 ○カラ出張で大量処分 約5億8000万円に上る裏金をねん出していたカラ出張問題で宮城県は、浅野史郎知事を最も重い30%の減給12か月とするなど一般職員を含む約1200人を処分、IDカードによる職員管理など異例の予防策を発表した。また、責任を取る形で小野寺完夫副知事が辞任の意向を表明した。
- 28日 ○クリントン大統領を正式指名 シカゴで開かれた米民主党大会はクリントン大統領を11月5日投票の大統領選候補に正式に指名した。クリントン氏は「21世紀への懸け橋を築く」と受諾演説し、共和党のドール氏、改革党のペロー氏との選挙戦に突入した。
- 30日 ○鳩山氏がさきがけ離党 新党さきがけの鳩山由紀夫氏が離党、22日の旗揚げを目指す新党の基本理念を発表した。さきがけは党体制立て直しのため、武村正義氏が代表を辞任。後任に井手正一元厚相を選んだ。

## 9月のメモ

- 1日 ○北広島、石狩市誕生 道内では1972年の伊達市以来24年ぶりの市制施行となった。北広島市では2日間にわたる「野ばら90曲演奏会」、石狩市では数千人のパレードなどでそれぞれ道内33番目、34番目の市誕生を祝った。
- 2日 ○苫小牧で3万世帯の水道水に刺激臭 同市西部地区で8月29日から被害が出ていたことが明らかになった。同市錦岡に投棄された魚かすが、水源の錦多峰川に混入したのが原因だったが、市は異常を知らながら5日間も市民への広報活動をしていなかった。
- 10日 ○北海道HIV訴訟初弁論 非加熱輸入血液製剤の投与でエイズウイルス(HIV)に感染した道内の血友病患者と遺族ら計46人が、国と製薬会社5社を相手に損害賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が札幌地裁で開かれた。被告側が原告に提出を求めた「陳述書」をめぐる対立し、和解は次回11月26日以降に持ち越した。
- 11日 ○「民主党」結成へ 菅直人厚相、鳩山由紀夫氏らは「民主党」結党に向けた共同アピールなどを発表、衆院解散後1週間以内の新党結成と総選挙後に行財政改革断行政権を目指す方針を打ち出した。
- 17日 ○国連総会開幕 第51回国連総会がニューヨークの国連本部で開幕した。会期は12月23日まで。包括的核実験禁止条約(CTBT)の署名、ガリ事務総長の再選、日本が立候補している非常任理事国改選などが焦点になる。
- 18日 ○社民、分裂状態に 社民党は常任幹事会で①次期総選挙は社民党として戦う②候補者の民主党参加は拒まないーと丸ごと参加方針を撤回し、事実上の分裂状態になった。
- 19日 ○ミドリ十字の社長ら逮捕 薬害エイズ事件で大阪地検は、製薬会社ミドリ十字が安全な加熱製剤が承認された後も危険な非加熱製剤の出荷を続けていたとして、業務上過失致死容疑で、松下廉蔵・元同
- 社社長、須山忠和・前社長、川野武彦・現社長の3人を逮捕、自宅などを家宅捜索した。
- 松本被告公判で師弟対決 オウム真理教の松本智津夫被告(41)の第8、9回公判が東京地裁で開かれ、林郁夫(49)、井上嘉浩(26)両被告らの証人尋問が行われた。初の師弟対決。林被告は「地下鉄サリン事件は麻原の指示と認識した」と述べ、井上被告は松本被告が犯行を命じた経緯を詳しく証言した。
- 25日 ○第3回定例道議会開会
- 27日 ○衆院が解散 第137臨時国会が召集され、橋本首相は冒頭、衆院を解散。臨時閣議で10月8日公示、20日投票の総選挙日程を決めた。小選挙区比例代表並立制での初の選挙となる。
- 30日 ○自民、消費税上げを公約 自民党は全国幹事長会議で、①消費税率は既定方針通り来年4月から5%に引き上げ、低所得者層に配慮する②中央省庁を半分程度に削減するーを柱とする選挙公約を了承した。

## 10月のメモ

- 2日 ○**新進、18兆円減税を公約** 新進、民主、社民3党は、それぞれ選挙公約を発表。新進党は消費税率の3%据え置きと18兆円減税の実施を掲げ、民主党は中央省庁の8分野再編や国会への行政監視評価委員会設置を強調、社民党は消費税アップの結論を選挙後の国会に先送りした。
- 7日 ◎**第3回定例道議会閉会**  
○**HIVで病院名公表** エイズウィルス(HIV)に感染する可能性があった非加熱血液製剤の投与を受けた血友病以外の患者の実態を調査するため厚生省は、投与状況が不明な全国43都道府県の344か所の病院など医療機関名を公表した。
- 8日 ○**道HIV訴訟和解へ** 札幌地裁で行われた和解協議で原告46人のうち21人が11月26日の第2回口頭弁論当日に和解することで合意した。和解内容は東京、大阪両訴訟の条件と同じく被告の国と製薬会社5社が被害者1人につき一時金4650万円を支払う。
- 14日 ○**北海道国際航空を今月内設立へ** 浜田輝男・北海スターチック社長ら道内経済人、学者グループは、今月内に道民出資による航空会社の母体となる企画会社、北海道国際航空(仮称)の設立方針を明らかにした。新千歳-羽田間で現行運賃の半額実現を目指す。
- 20日 ○**自民239議席、首相続投へ** 第41回衆院選は、新制度の小選挙区比例代表並立制で初めて行われ、自民党が239議席を獲得。過半数には達しなかったものの、橋本龍太郎首相の続投を確実にした。新進党は156と選挙前勢力に届かず、民主党は52で現状維持。共産党は26と健闘、社民党は15、さきがけは2と惨敗した。民改連1、無所属9となった。
- 21日 ○**日本、非常任理事国に当選** 国連安全保障理事会の非常任理事国選出選挙で日本はインドを破り、常任理事国を除く加盟国最多の8回目の理事国入りを果たした。
- 22日 ○**民主は政権不参加へ** 民主党は幹事会と両院議員総会を開き、政権参加問題を協議した結果、自民党との連立には慎重論が大勢を占め、政権には参加しない方向となった。
- 北電が泊原発3号機アセス着手を道に表明** 北電の樋口実副社長が道庁を訪れ、林陽副知事に、泊発電所(泊原発、後志管内泊村)3号機の建設のため、道条例に基づく環境影響評価(アセスメント)の調査に12月1日に着手する方針を伝えた。
- 23日 ○**小沢党首続投を確認** 新進党は最高諮問会議などで、小沢一郎党首の選挙敗北責任について協議、一時は「分党」を検討した細川護熙、羽田孜両元首相も小沢党首の下で結束していくことを確認、党首続投が確定した。
- 28日 ○**幼稚園児らO-157集団感染** 帯広保健所は、帯広市の私立葵西幼稚園の園児ら45人が病原性大腸菌O-157感染の症状を示していると発表した。発症者はその後拡大、2日までに園児の家族などを含めて182人に上り、道内では最大規模となった。
- 31日 ○**自社さ3党が政策合意** 自民、社民、さきがけの3党は、第2次橋本政権に向け行財政改革や消費税改革など10分野にわたる政策で合意。与党責任者会議など3党の意思決定機関の設置も決め、3党首が確認書に署名した。第2次橋本内閣は自民単独となるが、社さ両党は「与党」として連携を維持する。自民党は民主党とも「立法府における個別政策協力の関係」をうたった合意文書を交わしたが、民主党の「政権不参加」が明記された。

北海道議会時報 第48巻第3号  
平成8年12月19日

編集 北海道議会事務局調査課  
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第48巻第3号(平成8年第3回定例会)